女性課の記録

誕生の年1993年から1997年までのこと…

しあわせづくりをはじめました……はい、こちら四日市市役所女性課です。

●女性課の記録

1993～1997年までのこの5年

●もくじ・・・・・

□四日市市に女性課が誕生するまで――1
□女性課のしごと図――2
□事業一覧(1993～1997)――3
■女性課のお披露目会議――6
◎事業の柱1●女性施策に関するプランの策定と実現
■①調査から――8
　㋑市役所に働く男女の意識調査
　㋺更年期障害に関する調査
　㋩母子寡婦実態調査
　㋥女性のための施設調査研究
■②市役所女性職員による女性施策検討会議――11
■③21世紀にむけての四日市市女性施策プランづくり－12
　●懇話会
　●プランのまとめ
　●公開懇話会
◎事業の柱2●人材養成と発掘
　①女性カレッジ――16
　②女性カレッジワンランクアップ人材養成講座――19
　③派遣事業――22
　　＊特別派遣…世界女性会議・北京へ
　④グループ支援――25
　⑤まとめ――26
◎事業の柱3●女のネットワーキング
　①女性のつどい――27
　②地域女性会議――31
　③働く女性のネットワーク――33
◎事業の柱4●女性相談
　①相談の実態――34
　②庁内各種相談員の研修――38
　③フェミニストカウンセリング講座――40
■その他の催し……映画会2つ――42
□女性センターオープンにむけて――44
□女性施策に関する議会質問一覧――46
□審議会等への女性の登用状況――47
□予算の推移――47
□職員一覧――48　●――あとがき

●女性課のパンフ

四日市市に女性課が誕生するまで

世界の動き	日本の動き	三重県の動き
1946 国連に「婦人の地位委員会」を設置		
1948 国連総会で「世界人権宣言」を採択		
1967 国連総会で「女子差別撤廃宣言」を採択		
1975 メキシコシティで「国際婦人年世界会議（第1回世界女性会議）」を開催「世界行動計画」を採択	1975 総理府に「婦人問題企画推進本部」を設置「総理府婦人問題担当室」発足	
1976 「国連婦人の10年」（～1985）		1976 「婦人関係行政推進連絡会議」設置
	1977 「世界行動計画」に基づき「国内行動計画」を策定	
		1978 青少年健民課に委任職員を配置
1979 国連総会で「女子差別撤廃条約」を採択		1979 「三重県婦人対策の方向」策定（国内行動計画）
1980 コペンハーゲンで「国連婦人の十年」中間年世界会議（第2回世界女性会議）を開催		
		1983 青少年健民課を「青少年婦人課」に改める「三重県婦人問題推進協議会」を設置
1985 ナイロビで「国連婦人の十年」ナイロビ世界会議（第3回世界女性会議）を開催「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」を採択	1985 「女子差別撤廃条約」を批准	1985 「三重県婦人問題協議会」設置
	1986 「男女雇用機会均等法」を施行	1986 青少年婦人課に「婦人係」を設設
	1987 「西暦2000年に向けての新国内行動計画」を策定	1987 「みえの第2次行動計画―アイリスプラン」策定
		1989 「婦人対策監」の設置
	1992 「育児休業法」を施行 公立高校で家庭科が男女共修に	1992 「青少年婦人課」を「青少年女性課」に改名
	1994 総理府に「男女共同参画室」「男女共同参画審議会」設置（6月）	
		1994 三重県女性センター開館（10月）
1995 北京で、第4回世界女性会議		1995 女性政策審議監の設置「みえの男女共同参画推進プラン―アイリス21」策定
		1996 青少年女性課に「男女共同参画室」設置

四日市市の動き

1984（昭和59年）
“婦人に関する施策の連絡及び調整の窓口”を教育委員会の社会教育課に設置する。

1985（昭和60年）
本年より「婦人問題講座」を社会教育課が実施する。講座終了後受講者の中から“もっと婦人の意見を聴いてもらえる場を設けてほしい”との要望がでる。

1986（昭和61年12月）
「四日市市婦人問題懇話会」が発足する。昭和63年1月までに9回の会議を重ね、婦人問題の現況及び問題点を整理するとともにその内容を18項目の提言にまとめ市長に報告する。

1988（昭和63年12月）
「四日市市婦人問題研究会」が発足する。平成2年1月までに10回の会議を行う。

1990（平成2年3月）
「四日市市婦人問題研究会」より“女性の地位向上”をめざし次の6つの基本的な課題について施策への提言がなされる。

①社会参加の促進
②男女の雇用機会均等の確保と就労環境条件の向上
③健康の増進
④福祉の充実
⑤男女平等意識の向上と学習活動の促進
⑥推進体制の整備充実

⑥にかかげる「推進体制の整備充実」の中で、女性施策の全体調整を行い、バランスのとれた施策推進を図るため担当課（室）の設置が提言される。

1991～1992（平成3～4年）
「四日市市婦人問題研究会」の提言をうけ、女性行政担当課設置にむけて各市の状況調査と庁内検討会議を重ねる。特に配置部局（企画、教育、市民）のあり方や、担当業務の整理についての検討が大きなウェートを占める。

1993（平成5年4月）
「市民部女性課」が新設される。
職員構成は、課長（女）、主幹（男）、主事（女）、相談員（女）の4名でスタートする。
事務分掌は次のとおり

①女性施策の企画及び調査に関すること
②女性問題に関する調査研究及び啓発に関すること
③女性問題の相談に関すること

●市議会での「女性問題関連質問」一覧表

年　月	議員	質　問　内　容
昭60．3	女性	・婦人の窓口について ・婦人会館の建設について
平1．3	男性	・婦人会館の建設について
平2．6	男性	・女性の登用について ・婦人会館の建設について
平3．9	女性	・女性施策担当課の設置について ・女性関係行政推進連絡会議の設置について ・行動計画策定について ・女性センターの建設について ・婦人問題研究会の充実強化について
平4．9	男性	・婦人問題担当部署の整備について
	女性	・女性情報コーナーの設置について ・女性センター建設について ・女性の登用について

女性課のしごと図——女性課は何をするところか

テーマ　**しあわせな表情・しあわせな暮らし・しあわせな地域**　女性からの発信

●コンセプト

1．女性が“天の半分”であることの認識を広め深める

2．21世紀を展望し

女性が
“安心して子を産み育てるために”

“安心して働くために”

“安心して老いるために”
の

女性施策の推進

〈方向〉

◆女性問題の解決

◆女性の生き方発見

◆自立した男女の共生

〈課題〉

男女の
固定的な役割分担
意識の是正

人にやさしい
地球にやさしい
まちづくりへの
女性の参画

↑
現代的課題
女性のライフサイクル

〈方法〉

1．女性施策に関する行動計画の策定と実現

↑
推進システムづくり
懇話会
情報の収集
調査
研究
啓発

2．人材養成・発掘
持続的な学習活動
派遣事業

3．女のネットワークづくり
女性のつどい
情報の提供・交流
グループ活動の支援

4．相談事業

⇧

5．各課
女性施策の連絡調整

↑
推進システム

1．市民の自発的活動の支援

2．条件整備

3．意識改革

4．総合的行政の推進

ひとりの女性の発想をどう施策に反映するか……

女性課の事業一覧(1993～1997)

●**誕生の年・1993(平成５年度)の事業**――“課題を探る年”“庁内からの出発”“女性課をアピール”

女性問題の解決／女性の生き方発見／自立した男女の共生

仕事の柱	事業	さまざまな女性たち・さまざまなグループとの交流(40の団体・グループと交流)	⇨明確となった課題
① 女性施策に関する行動計画の策定と実現	A．推進システム 1．21世紀に向けての「四日市市女性施策プランづくり懇話会」の発足（3月） 2．女性職員による女性施策検討会議（6回開催） B．調査活動 1．市民意識調査“「男は仕事・女は家庭」という考え方について”の実施（9月） 2．市役所で働く男女の意識調査の実施（2月） 3．審議会等への女性登用調査（7月） C．情報の収集・提供 1．女性問題に関する図書の貸出し（600冊）		
② 人材養成と発掘	1．女性カレッジの開催 テーマ“家族－幸せですか”（10回講座） 2．派遣事業――全国レベルの会議への派遣 a．9／1「高齢化社会をよくする女の会」（東京3名） b．9／28～30日「婦人国内交流研修」（国立婦人教育会館5名） c．10／27～29「日本女性会議」（福岡2名） d．11／14「京のあけぼのフェスティバル」（京都2名） 3．ビデオを観る会の開催 a．“87才の青春　市川房枝生涯を語る” b．“コニコマステージ”“見て考えて生きてきた” 4．女性グループ活動への支援（5グループ）		
③ 女のネットワーキング	1．6／4「女性課お披露目会議」の開催 2．3／19　女性のつどいよっかいち'94 3．女性グループと共催学習会の開催 a．ウィミンズカレッジ修了生（Ⅰ～Ⅲ期）合同発表会（1月） b．商工会議所婦人会、法人会婦人部、地場産業振興センターと女性経営リーダー養成講座（3月） テーマ“私　女性管理職です” c．“ウィミンよっかいち”と「女の勉強会」（2月）		
④ 相談事業	1．1年間の相談件数　456件 2．庁内各相談員会議及び研修会（7月）		

①仕事と育児を支える条件整備

②男女平等教育のすすめ

③審議会等への女性の登用

④女性のための施設の整備

⑤相談体制づくり

⑥更年期女性への配慮

⑦単身女性等への不利益の除去

この課題に対して来年度より女性施策プランを策定する

●２年目・1994(平成６年度)の事業――課題を明確にした“啓発活動”“人材養成”“行動計画づくり”

女性の問題の解決／女性の生き方発見／自立した男女の共生

仕事の柱	事業
① 女性施策に関する行動計画の策定と実現	A．推進システム 1．「21世紀にむけての四日市市女性施策プランづくり懇話会」行動計画策定（９回開催） 2．女性職員による女性施策検討会議（８回） B．調査活動 1．女性の活動施設整備の調査研究「女性グループに委託」（５月～１月） 2．単身女性、更年期障害の実態調査 3．審議会等への女性登用調査（７月） C．情報の収集・提供 1．女性課通信の発行（3,000部） 2．女性問題に関する図書の貸出し（1,712冊）
② 人材養成と発掘	1．女性カレッジの開催 ・テーマ“女が働くということを考える”（10回講座） ・特別講座“エコロジー・シンプル宣言” 2．女性自治ゼミナール――審議会等への女性登用のためのワンランクアップ講座（10回） 3．派遣事業――全国レベルの会議への派遣 a．９／３～４「高齢化社会をよくする女性の会」（大阪２名） b．９／８～10「日本女性会議」（和歌山２名） c．９／27～30「婦人国内交流集会」（国立婦人教育会館５名） d．11／18　「北陸、東海、近畿地区男女共同参画会議」（津50名） e．３／５　「ＫＹＯのあけぼのフェスティバル」（京都２名） 4．女性グループ活動への支援（５グループ）
③ 女のネットワーキング	1．２／４　女性のつどいよっかいち '95（16の女性グループ・団体） 2．地域女性会議　下野、桜、川島　３地区 3．11／24　映画と講演会「ルッキング・フォー・フミコ」 4．女性グループと共催学習会の開催 a．２／20　女性カレッジ修了生の会“ウィミンよっかいち”と「女の勉強会」 b．３／４　子育てサークル“すくすくポン”と「女性勉強会」 c．３／17　商工会議所婦人会、法人会婦人部、地場産業振興センターと女性管理リーダー養成講座
④ 相談事業	1．１年間の相談件数　554件 2．パンフ“ひとりで悩んでいませんか”と事業のまとめ“声なき声を聴く”の発行 3．８／31　庁内各相談員会議及び研修会　テーマ“相談を受けるということ” 4．７／23　講演会　テーマ“更年期とつきあう” 5．女性課職員のカウンセリング研修会への派遣（３泊４日、ワークショップ）

＊四日市市の女性施策プランづくりに着手

＊女性カレッジワンランクアップ講座の開始

＊地域に点在する女性の人材による井戸端会議「地域女性会議」の出発

●**3年目・1995(平成7年度)の事業**——"世界へ——そして行動は地域"／「21世紀にむけての女性施策プラン」の実現のために

	仕事の柱	事業名	事業内容	
女性問題の解決／女性の生き方発見／自立した男女の共生	① 女性施策に関する行動計画の策定と実現	1．21世紀にむけての女性施策プラン懇話会の開催及びプラン周知のための公開懇話会の開催	●4回実施	＊第4回世界女性会議への派遣
		2．男女平等をめぐる意識啓発物の発行	●「21世紀にむけての女性施策プラン市民版」(5,000部) 「女性課通信」(3,000部)	
		3．情報コーナーの充実	●図書等の貸出し（1,622冊）	
		4．ファミリーサポートシステム事業の調査研究	●四日市の実情にあったファミリーサポートシステム(仕事と育児の両立を支援する地域システム作り)を考えるための調査研究	＊ファミリーサポートシステム事業にむけての取り組みをはじめる ・市役所女性職員（13人）による調査研究（システムの中身づくり） ・子育てボランティア養成ゼミナールの開催
	② 人材と教養と発掘	1．女性カレッジの開催	●男女共生をめざした学習の場の提供 テーマ「女たちが政治を変える」（昼、夜、公開　全10回講座）	
		2．派遣事業 (1)　世界女性会議	●NGOフォーラム（北京）への参加と天津での交流 8／27～9／3（10名）	
		(2)　国内会議	●高齢社会をよくする女性の会（金沢）9／9～10（2名） 婦人国内交流集会（埼玉県・嵐山）11／8～11（5名） 日本女性会議（新潟）10／11（1名） KYOのあけぼのフェスティバル（京都）10／1（3名）	＊「声を綴った21世紀にむけての四日市市女性施策プラン」策定
		3．女性研究グループ活動への支援	●女性の資質向上・人材養成をめざし女性による女性問題研究を支援（5グループ）	
		4．子育て支援ボランティア養成ゼミナール	●子育て不安の解消と地域での子育てサポートをめざした人材養成講座（5回）	
	③ 女のネットワーキング事業	1．「女性のつどいよっかいち'96」の開催	●22の女性団体、グループ、サークルのネットワーキング(1／13)	
		2．地域女性会議の開催	●地域の人材を集めて「まちづくりと女性」をテーマにした新井戸端会議（下野、桜、川島、日永、常磐）	
		3．映画と講演でネットワーキング	●映画「奈緒ちゃん」の上映と講演会（3／29）	
		4．新たなネットワーキング"働く女性リーダー交流会"	●働く女性リーダーのネットワーキングを図り、学習と情報交換の場を提供。地場産業振興センターと共催（3／27）	
	④ 相談事業	1．庁内各種相談員研修会（婦人相談員の視点による）の開催	●フェミニストセラピィの視点に立って研修会を実施（5回）	
		2．グループカウンセリング	●フェミニストカウンセラーをまじえてCRグループ体験講座を実施（5回）	
		3．1年間の相談件数　576件		
		4．女性課職員のカウンセリング研修会への派遣（3泊4日、ワークショップ）		

♡まずは女性課`お披露目会議から……女性たちの声を集めて施策に生かし、自由に大担に温かい仕事をしていきたい。

女性グループ
女性団体のみなさまへ…

女性課
お披露目会議のご案内

緑が美しい季節です。
みなさま、お元気にご活躍のことと思います。

さて、四日市市に今年の４月１日「女性課」が誕生いたしました。“何するところ？”“どうして、今頃、女性課なの？”“男性課はないの？”など、さまざまな関心をお寄せいただいております。そこで、今、なぜ、女性課なのかを確認しながら、女性課の仕事として“ほんとうに必要なことは何か”を女性のみなさんと一緒に考え合いたいと願っています。

是非、おさそい合わせて、ご出席下さい。

四日市市諏訪町１－５
四日市市役所市民部
女性課

♡手話通訳の用意があります。

●1993年６月５日(土)　午後１時30分～４時

●じばさん三重　５階　大研修室　☎５３－８１００
(近鉄四日市駅西　アムスクエア隣)

―申し訳ありませんが駐車場が有りませんので
公共交通機関をご利用ください―

●スケジュール

１．市民部長あいさつ

２．“女性課の仕事について”説明

３．おはなし

初代名古屋市婦人問題担当室長
市民ネットワークセンターなごや事務局長
中　山　恵　子　さん

「お言葉を返すようですが……」

４．意見交換の時間

お茶を用意いたしますので　ご面倒をおかけしますが　前日までに出席者数のご連絡をいただきますようお願いいたします。

☎直通（５４）８２０２
代表５１－１１５５
内線　２２３４

●参加者160人。会場はあふれるばかりの女性たち。お花やお茶の用意を「ウイミンよっかいち」のメンバーが受け持ってくれました。

《お披露目会議に出席の46人が書いてくれたご意見・感想メモ》より——→仕事へ

○女性課の誕生は、少なくとも２～30年遅すぎた感あり。市の部局の大切な課として自信をもって活動されたい。“いまなぜ女性課か”という原点にたえずたち、あらゆる階層の女性の声を汲みとって組織化されることを望みます。
○今日の沢山の意見に加えて、ひとつ何とかしたらと思うことは冠婚葬祭の簡素化です。しかし一番大事なことは環境問題ではないでしょうか。
○女性の幸福を実現するための大きな力として、女性団体の連絡協議会のようなものを結成していただきたい。
○婦人団体交流の場をつくってください。
○地域の女性との連携も。
○行政の人たちと話し合う場を！
○婦人会館をつくってほしい（何人もの人）。
○女性の職場の実態や声を聞く場をつくってください。
○市民部に女性課がおかれてよかった。
○中山先生のお話の中に、グループサークルでの学習だけではいけない。社会に還元しなければとありましたが、目がさめる思いでした。
○女も男も働き続け楽しく人生を終えるために、さまざまな制度化の必要かあると思いました。一運動していかねば…
○将来の四日市に胸がトキメキました。
○女性課とはどの程度のものか、のぞいてやろうくらいの気持で来ましたが、みなさんの意見をきいて四日市にもこういう女性たちがいたんだとうれしくなってきました。
○時代の変化とともに、私たち一人ひとりの意識改革をしないで因習の深い地域を変えることができないと思う。
○各団体のネットワークといって連絡協議会のようなものは作らないでください。フリートーキングできるような場がいいですね。
○ヘルパーさんの業務内容や時間など、もう少し検討していただけないでしょうか。ひとり一人のニーズに合った援助ができるシステムを考えてください。
○女性課がとりざたされない社会になることを切望します。
○四日市市の女性課が市内だけでなく近隣市町村への女性問題の情報発信基地としての役割も担ってほしい。
○私の母は大正生まれですが、ずい分苦労の多い人生でした。当時、女性課があったら母の人生は変わっていたのではなかろうか一。
○女性課の仕事も多様化でむつかしい。一年ひとつテーマをしぼってやっていくと良い。
○婦人会活動は自治会との連帯が望しいが今、押しつぶされている現状。
○地域毎に女性のための情報の窓口がつくられたらうれしい。何かを活動していないと今日のような想いのある人に出合えないですんでしまいますので。
○地区市民センターからお知らせをいただき、出席して大変よかったです。婦人のためにがんばってください。共働きの者の保育料についても考えていただきたいのです。
○広報のなかに女性課便りを入れてください。
○わかりやすい女性課独自のお知らせを。
○下々の声、個人の声（意見、提案、苦情、悲鳴）を差別なしに受けとめてほしい。
○母親の育児能力の低下を感じます。保育制度を整えていくだけでは片手落ちだと思います。隣近所づきあい、人と手をつないでいくことを学んでいくべきです。
○行きやすい女性課にしてください。
○どの団体にも影響されることなく、男女を意識せずに考えていく核になっていけば…。
○身近かな意見を取り入れることが本当のスタートだと思います。
○子育ても、老人の問題も、自立を第一に考えて、自立を育てるには何をするかを考えるべき。
○男性もまじえた交流の場を。
○女性女性とガンバルのもいいけれど…。
○女性の力を結集して、市議、県議を送りこみたい。
○ひとりの女性の発想をどう施策に反映するかと資料に書いてあるのがうれしかった。
○女性が集まる所、必ず託児を考えてほしい。

1 調査から

イ 市役所で働く男女の意識調査

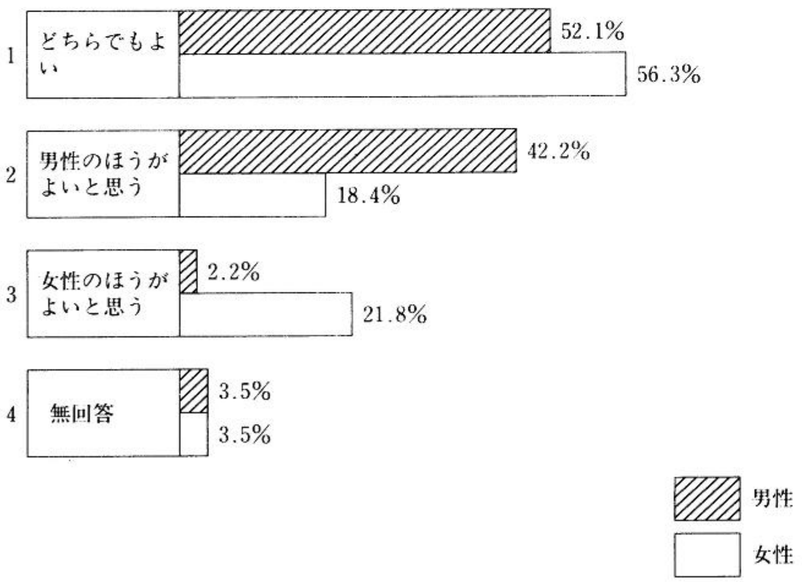
・実　施　　1994年2月
・対　象　　四日市市役所で働く男女
　　（嘱託職員・臨時職員含）
　　調査表送付　3804人
　　回　　答　3309人（回答率87%）
　　男性1619人
　　女性1690人

この調査では男性と女性の意識を対比させることを主眼として、日常業務に対する考えや職場における男女の固定的役割分担意識をどのように考えているかを探ってみる

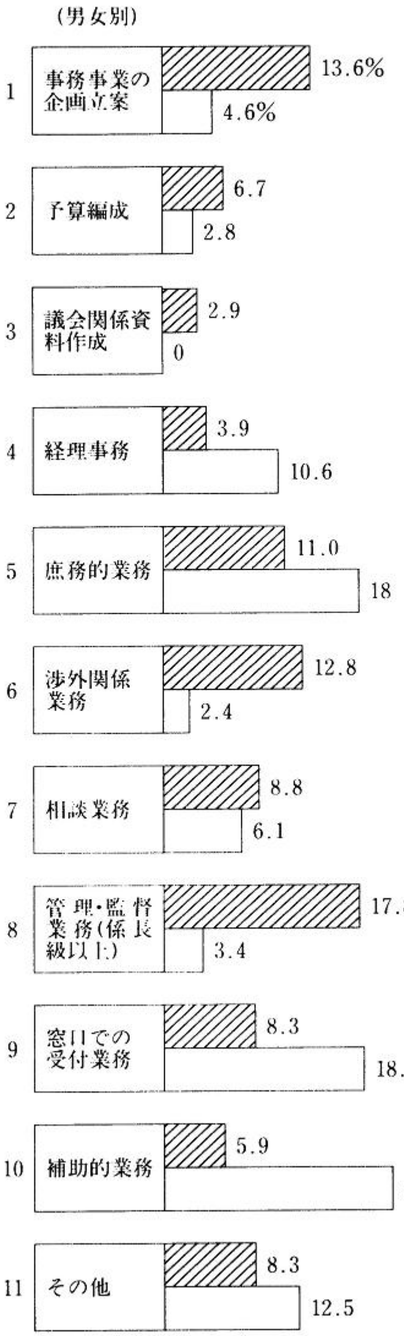
20の質問項目は〝市役所女性職員による女性施策検討会議〟で作る→冊子にまとめる

●調査結果から

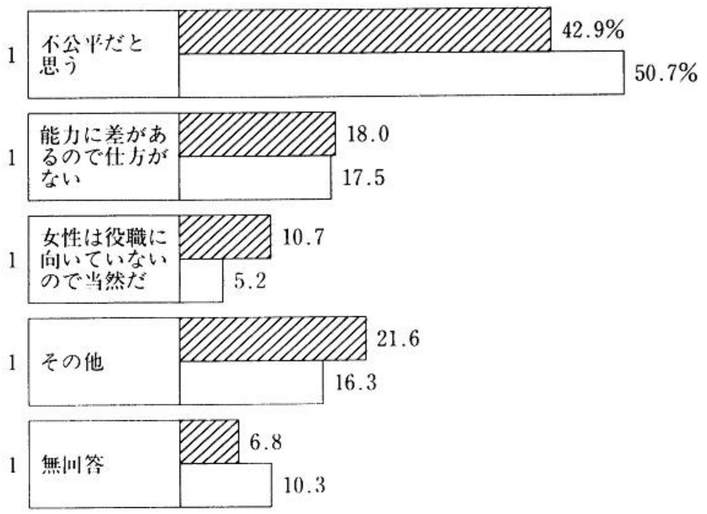
①男性にとって直属の上司はやっぱり男性の方がいいようです



②女性職員の主な仕事は「補助的な業務」「窓口での受付」「庶務的業務」が上位をしめています



③女性の役付職員が少ないことについて29才以下の女性の約64%は不公平だと答えています



●**年令別では**（無回答除く）

（男性）　（%）

	29才以下	30才代	40才代	50才以上
不公平	47.5	49.4	46.2	42.8
能力に差があるので仕方がない	17.5	14.2	18.8	24.5
女性は役職には向いていない	9.7	8.5	11.9	14.0
その他	25.3	27.9	23.1	18.7

（女性）　（%）

	29才以下	30才代	40才代	50才以上
不公平	63.8	61.1	53.5	45.9
能力に差があるので仕方がない	11.4	14.4	24.3	28.5
女性は役職には向いていない	2.5	3.0	6.6	12.5
その他	22.3	21.5	15.6	13.1

ロ 更年期障害に関する調査

・実　施　　1994年９月
・対　象　　講演会「更年期とつきあう」の出席者　107名
　　ハガキによるアンケート調査　46.7%の回収率

女性相談の中に更年期の悩みが多くみられたことから、閉経期前後の女性が多かれ少なかれ直面している問題であると考えた。更年期をどう過ごすか、また、思春期から更年期までをどう生きるかというテーマに行政でできることを探るため、女性たちの声を集める。

●調査結果から

・40才代、50才代に更年期障害が出ていること、60才代まで続いている人もいること、50才代の59%の女性が悩んでいることがわかる。
・行政に望むこと ―― 更年期の女性が孤独にならないようにすることがまず大切
①更年期を乗り切った体験談を聞きたい。
②相談に行く場所がほしい。
　・女性相談
　・病院での更年期専門の窓口
③学習する機会がほしい。
④気持ちの晴れる催し。
⑤働く女性に対して生理休暇のように更年期障害休暇がほしい。
⑥更年期にむけての教育を学校教育でしてほしい。
⑦家庭や職場で男性の理解がほしい。

↓

『21世紀にむけての女性施策プラン』に「更年期女性への配慮」として提言。
―― 市立病院では1996年７月から〝更年期外来〟がはじまりました。

ハ 母子寡婦実態調査

・実　施　　1995年
・対　象　　四日市市母子寡婦福祉会の会員　1,025人
　　ハガキによるアンケート調査（回収率18%）

女性相談のうち40%は女性が単身で、あるいは世帯主となって新しい生活を送ろうとする時ぶつかる「壁」についての相談だった。21世紀にむけて単身女性は増えていくことが予想されるので、単身女性たちの悩みや意見を集めようとした。（市内に単身女性は4,000人いるが、住民登録上、単身者である実態はつかみにくいので、四日市市母子寡婦福祉会にご協力いただいた。）

●今までの生活で困ったこと

・所得が少ない、子供の病気、通院、子どもの進路、教育費、学校行事への参加、自分の病気、世間の冷たい目、住宅、仕事が少ない、村の役への参加、など

●市役所にのぞむこと

○子どものこと ―― ・保育園から帰宅後、子どもを預かってくれるところを作ってほしい
　・学童保育の充実
　・学校での給食費やその他のお金を免除してほしい
　・18歳になっても子どもが高校へ通っている間は扶養手当てがもらえると助かる。
○仕事のこと ―― 就職斡旋窓口を開いてほしい
○自分の病気のこと ―― 病気で入院した時の手助け
○自宅のこと ―― 住宅費を安くしてほしい
○老後のこと ―― 安心して老後がおくれるように最低限の生活保障
○その他 ―― ・母子医療を翌月来院しなくても当日窓口で処理してもらえるように
　・市・県民税の減額の割合を多くしてほしい
　・寡婦としての扱いが死別、性別によって違うのは理不尽
　・役所の業務をせめて月１日土・日曜日に受け付けてほしい

ニ　女性の施設のための調査、研究

・調査・研究は女性カレッジ修了生の会「ウィズ'92」に委託
・期　間　　1994年4月～12月
・地区市民センターを女性の目で点検することと〝こんな女性センターがほしい〟をまとめる

①地区市民センターをチェック

イ　入口のタイルは雨が降るとすべりやすい
ロ　ロビーがない　センターは住民の出会いの場と言いながら話し合える場所がない
ハ　カウンター　老人や車椅子用の低いカウンターがほしい
ニ　託児室がない…子育て中の女性が利用しにくい
ホ　階段に手すりがない
ヘ　廊下がせまくて暗い
ト　トイレがせまい　おむつを変えるスペースがいる
チ　図書室を図書室として開放しているセンターはよく利用されている
　・子どもの本が天井まで並べてある…とれない
　・多目的に使われていて図書室の利用がしにくい
　・2階にあるので目につきにくい
リ　調理室　調理台の高さが一律で使いにくい
ヌ　住民活動のスペースが2階なので老人や障害をもった人が使いにくい

まとめてみると ——

1．弱者の視点が乏しい（身障者／老人／若い母親）
2．調理室など使い勝手が悪い…利用する者の声が届いていない
3．図書室を住民がふらりと行ける場所にしてはどうか
4．託児室の必要性
5．サロンがほしい（一服するところ／ふれあう場として）

②〝こんな女性センターがほしい〟

●私たちのイメージ

・一人でふらりと行けるところ、一人でふらりと行って何か情報をつかんでこれるところ
・一人が何かしたいことを持っていけるところ
・子どもと老人、女性も男性も障害を持った人も外国の人もいけるところ
・今までの市の施設を利用したことのない人も行きたくなるようなところ
・元気な老人が家にいる女性は遠慮して外出しにくい。両方が楽しんで参加できるところ
・子育ての中の若いお母さんが子どもと一緒に不安なくこれるところ
・おしゃべりスペースの広がりがあるところ
・入口スペースは待ち合わせの場所
・ボランティアのネットワークができるところ…女同志の助け合いがほしい
・自分の住んでいる地域と結びついているところ…23地区市民センターの情報を知りたい
・授産施設があるところ —— 元気な高齢者が働く
・いろんな相談に行くところ（悩みごと、就労、生活情報）
・学習しに行くところ
・〝お借りします〟ではなくて女性とセンターが共に活動できるところ

●これを四日市の女性センターの特色にする

＜自由な空間＞

・入口のゆったりとしたソファーで一服、待ち合わせ、ぼんやり
・団体やサークルがミーティングフロアーで交流
・サロンスペースでおしゃべり

自立

＜就労を支援する空間＞

・仕事探しに出かける（求人ボード）
・職業安定所や内職あっせん所の出張サービスがある
・情報誌あり

＜授産施設 —— ばーばら工房と名づける＞

・元気な高齢者の人材活用　・パンとお惣菜をつくる

＜子どものために —— 小劇場（小さな穴倉）＞

・託児室
・小劇場
　お母さんが活動している間の子どもたちの遊び場所

以上調査、ロハニの詳細は「21世紀にむけての四日市市女性施策プラン」報告にまとめました。

2 市役所女性職員による女性施策検討会議

	メンバー	会議	内容
平成5年度	〔管理職代表〕 藤山逸子 〔地区市民センター〕 橋北C 八巻恵子 八郷C 市川典子 桜C 小林春美 河原田C 中川米子(指導員) 川島C 奥田かなえ(指導員) 〔商工部〕 商工振興課 山下芙美代 〔保健福祉部〕 保護課 藤井由紀子 保健福祉課 伊藤多恵子 あけぼの学園 伊藤尚美 〔教育委員会〕 社会教育課 伊藤佳代 文化会館 平林小百合 〔職員研修所〕 伊藤幸子 〔市立病院〕 片岡千都子(ケースワーカー)	6回	●「市役所で働く男女の意識調査」 調査項目づくり
平成6年度		9回	●「21世紀にむけての四日市市女性施策プラン」 7つの課題のうち 課題＜審議会等への女性の登用＞のプランづくり (その1) 審議会委員〝住みやすいまちに〟 (その2) 市役所の女性職員〝男女の平等な就労をめざして〟 (その3) 地域リーダー〝地域にはもっと女性の声が必要です〟 をまとめる。
平成7年度	〔市長公室〕 市制100周年記念事業推進室 片岡和代 〔市民部〕 地域振興課 市川典子 地区市民センター 羽津 前川千代子 日永 中村多佳美 〔保健福祉部〕 障害福祉課 藤山逸子(さるびあの会) ときわ保育園 小川祥子 保健福祉課 永田真理 児童福祉課 堀川まり子 老人福祉課 村崎恵子 保健センター 長谷川玲子 〔商工部〕 勤労青少年ホーム 金森洋子 〔教育委員会〕 文化課 沢田雪子 〔社会福祉協議会〕 総務課 安田美佳	7回	●労働省補助事業 仕事と育児両立支援特別援助事業 「ファミリーサポートセンター」(地域での子育て支え合い)を 四日市市ではどのようなものにするか調査・研究
平成8年度		9回	●＜子育てボランティア養成ゼミナール＞にて 受講生に発表・交流 ●市役所女性職員の会＜さるびあの会＞にて報告・交流

3 21世紀にむけての四日市市女性施策プランづくり —— 課題を明確にした重点的な女性施策プランを作成(1994～)

●女性のしあわせのために四日市市役所全体で何ができるか●

- 女性問題の解決
- 女性の生き方発見
- 自立した男女の共生

・平成２年３月に提出された

四日市市婦人問題研究会報告書
「四日市市における女性の地位向上をめざして」

・女性課の１年でつかんだ課題

①仕事と育児を支える条件整備
②男女平等教育のすすめ
③審議会等への女性の登用
④女性のための施設整備
⑤相談体制づくり
⑥更年期女性への配慮
⑦単身女性等への不利益の除去

懇話会
・10回開催しました

まとめ → 部長会 → 各課へ

各々具体的なプラン実現のための
関係課長会議の開催

できる限り
市民の声を集めた
具体的なプラン

●懇話会メンバー

1	コーディネーターとして大学助教授（地域社会づくり専攻）	寺　口　瑞　生	（幹事）企画調整課長 地域振興課長 女性課長
2	女性学学者	若　尾　典　子	
3	共働きの男性会社員	太　田　義　男	
4	若い女性	早　川　奈緒美	
5	発想豊かな男性	増　田　喜　昭	
6	主　　婦	平　野　時　子	
7	市役所女性職員による女性施策検討会議のメンバー	市　川　典　子	
8	市民部長	小　畑　廣　次→南　部　和　雄	

●プランづくりの進め方

①仕事と育児を支える条件整備
②男女平等教育のすすめ
→ 懇話会

③審議会等への女性の登用
→ 市役所女性職員による〈女性施策検討会議〉で草案づくり

④女性のための施設整備
→「女性カレッジ修了生」を中心にした企画グループが草案づくり

⑤相談体制づくり
⑥更年期女性への配慮
⑦単身女性等への不利益の除去
→ 相談窓口のまとめ＋各課関係相談員会議での話し合いをまとめる

草案を懇話会で検討する

男女共同参画型社会の実現にむけて

〝7つの課題に対する施策プランから〟

女性たちは悩んでいる
自分らしく生きていない
自立したいと願っている

「男は仕事」「女は家庭」という
固定的な役割分担意識が
壁になる

●課題1
仕事と育児を支える条件整備

●課題2
男女平等教育のすすめ

●課題3
審議会等への女性の登用

●課題4
女性のための施設整備

■女性センター

●課題5
相談体制づくり

●課題6
更年期女性への配慮

●課題7
単身女性等への不利益除去

重点課題

●男性の家庭参加のすすめ

●ファミリーサポートシステムの指向
＜地域での支え合い＞

●相談体制の立て直し
＜相談員の力量がポイント＞

●女性たちの、子どもたちの行き場所づくり

●まちづくり人材養成とネットワーク

●女性の経済的自立への支援
＜住宅、就職＞

●意志決定の場への女性の登用

(拠点)

まず市役所が変わる ── 職員の意識改革

管理職のリーダーシップ

女性の視点に立った施策
- 女性の声を集める
- 女性職員の管理職への登用

相手の立場に立った市民への応対
- 全職員に「カウンセリングの心」の研修

互いによきパートナーとして女性職員と共に生き生きと働く
- 職場会議

推進システム・推進状況チェックシステム（市民参加による）

■プランづくりを終えて —— 懇話会メンバーからの手紙

四日市に通って一年。四日市の女性は、どんな問題にぶつかっているのかしら。ほんとうの声、具体的なつぶやきを聞きたい。それが、四日市に通う私の思いだった。

女性差別撤廃条約が成立したことにより、わたしたちの社会が、性別役割分担を打破し、女も男も、生計労働と家事・育児労働と余暇を、ともに楽しむ方法へと向かうことは、はっきりしている。だが、具体的な方法となると、そう簡単なことではない。

「お茶くみ」一つとっても、職場や学校など公的な場であれ、家庭のような私的な場であれ、あっさり女性の仕事だとされている。ときには「やはり女性がいれるお茶はうまい」と妙な誉め言葉さえ聞かれる。だが、「お茶くみは女」という考え方は、性別役割分担にもとづくものであり、「旧来の常識・これからの非常識」である。お茶くみを一方の性におしつけないことが、女と男の気持ちのいい関係をつくるポイントなのだ。しかし、女の入れるお茶をごく自然に飲んでいる職場の上司、同僚、教師、あるいは夫や父親を前にするとき、誰がどんなふうに問題を切りだすのか。「猫につける鈴」が鳴る。

だからこそ、四日市に生きる女性たちが抱えている具体的な問題を、みんなで共有することが、施策づくりの出発点となる。懇話会では、それぞれの委員が自らの生活体験を率直に語り合った。そのなかから、女性の声に耳を傾けることの重要性も困難さも、浮き彫りにされていったように思う。

ようやく女性施策プランができた。なにより、ここには、暮らしを担う四日市の女性の声、彼女らとともに生きようとする男性の声がある。プランを実施するなかで、もっと女性の声がはっきり聞こえてくるはずだ。楽しかった。楽しみだ。ありがとう。

（若尾典子）

敬愛していた永瀬清子という詩人がなくなった。永瀬清子の詩をすすめてくれた千刈あがたさんももうこの世にいない。とても不思議なことだが、女性課の懇話会に出席するたびに僕は家に帰ってから永瀬清子の詩を読んだ。

この懇話会でいろんな女性たちの声を聞き、二時間のあいだずっと集中して女性の立場でいろんなものを見たり考えたりした。

そうしているうちに自分の母のことや妻や娘や、会社で共に働く女性たちの日々の生活のあれこれを想い巡らせていた。そうすると、永瀬清子の生き方考え方がぐーんと僕の心の中にしみ込んでくるのだ。

僕はけっこう自分では、社会の不平等や矛盾には抗議してきたつもりだったが、自分のまわりにいる女性たちをずいぶん傷つけていたことを知った。自分を犠牲にして生き続けてきた母のことを想いながら、やっと、永瀬清子の詩が少し理解できるようになった。

この一年間で僕は変わった。女性課の皆さん、懇話会のメンバーの皆さんありがとう。

（増田喜昭）

市役所に女性課があるような、女性問題に先進的（？）な我が四日市市において、小学校40校のうち混合名簿を採用しているのは、公簿（出席簿）では0、学級名簿でさえ、わずか数校にすぎないと知り驚きました。

でも、考えたらこのような状態であるからこそ、女性課が必要なのでしょうね。

今までずっと続いてきた男子〝先〟女子〝後〟の名簿を何の疑問も持たずに踏襲していることに、あるいは、気づいていても改めようとしないことに、女性問題の根の深さがあるように思います。

「何時でも、何でも男子が先ばっかり」と小さな疑問を抱き始めた女子小学生もいます。混合名簿にする前に、女子を先にした名簿を一度こっそり作ってみて下さる先生が現れないかなと思っています。

きっと「あれ？いつもと違う」

「何で今年は女子が先？」

という声が児童の中から出てくることでしょう。そこから、人間としての個人を尊重する本当の男女平等教育が生まれてくるのではないでしょうか。

生まれたばかりの女性課ですけれど、早く女性課を置かなくてもよい社会になって欲しいと思います。「個人の尊重」と「法の下の平等」はもう半世紀近くも前に、憲法に唱えられているのですもの。

（平野時子）

■プランの公開

いっしょに考えましょう

女も男も楽しく生きる

四日市市女性施策プラン

公開懇話会

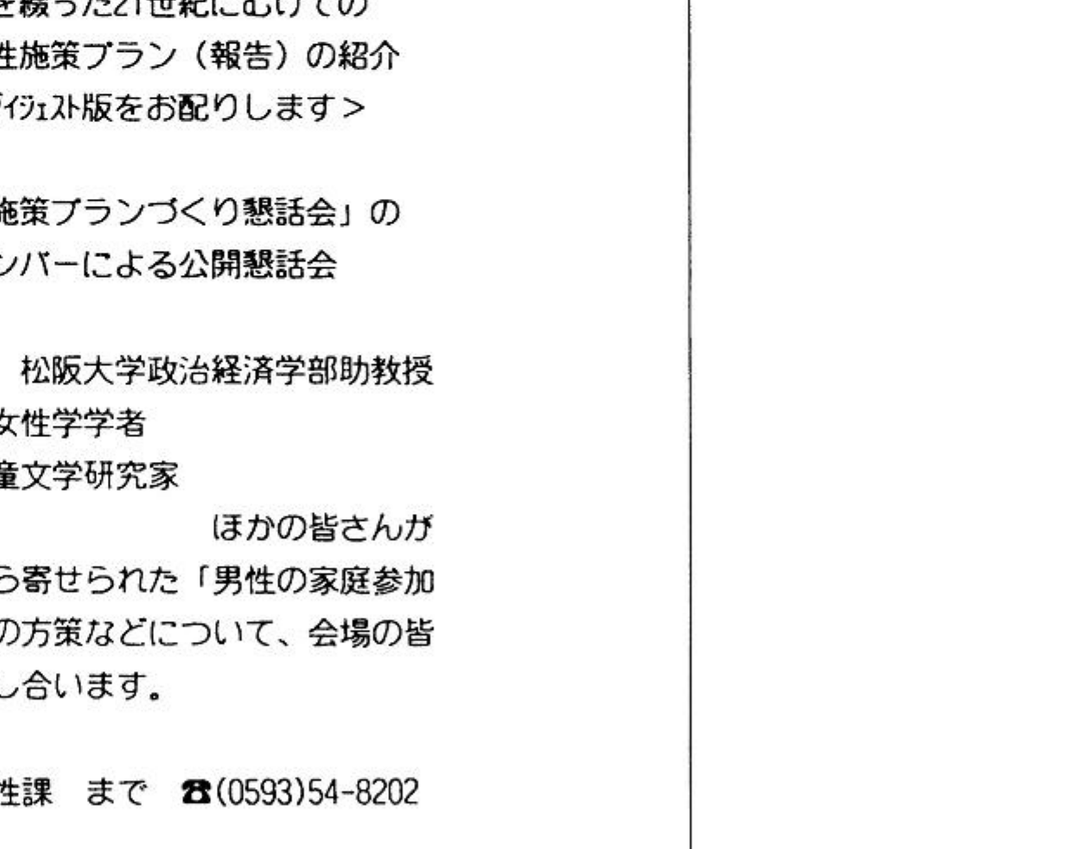
11月25日（土）
午後1時30分～4時
四日市市総合会館（市役所西隣）
8階　視聴覚室
定員200人　　入場　無料

〔内　容〕
声を綴った21世紀にむけての
女性施策プラン（報告）の紹介
<ﾀﾞｲｼﾞｪｽﾄ版をお配りします>

「女性施策プランづくり懇話会」の
メンバーによる公開懇話会

寺口瑞生　松阪大学政治経済学部助教授
若尾典子　女性学学者
増田喜昭　児童文学研究家
ほかの皆さんが
市民の皆さんから寄せられた「男性の家庭参加をすすめるため」の方策などについて、会場の皆さんといっしょに話し合います。

♡お問い合わせは、四日市市役所　女性課　まで　☎(0593)54-8202



1 女性カレッジ

女性カレッジ'93

"家族"……幸せですか。

♥はじめに

合同講義
9／25(土)14:00～16:00
「男と女・これが生き方問題点」
作家 林 郁
著書「家庭内離婚」(ちくま文庫)
「男と女生き方問題集」(晶文社)他
(一般公開します／定員100人)

《昼間コース》13:30～15:30

変わる良妻賢母像

①10/8(金)
「良妻賢母ってなに？」
立命館大助教授 小山 静子
著書「良妻賢母という規範」(勁草書房)

②10/14(木) ブンブン会議
「私は○妻○母になりたい」
ウイミンズカレッジ修了生と交流します

③11/25(木)
映画「フライド グリーン トマト」を観る

④12/9(木) フォーラム
"家族"……幸せですか
コーディネーター
子どもの本専門店主 増田 喜昭
月刊くらら編集長 市川さつき

⑤'94 1/22(土)
「家族のゆくえ」
日経新聞編集委員 鹿嶋 敬
著書「男と女 変わる力学」岩波新書
「男の座標軸」(岩波新書)

(定員30人)

バス
合同学習旅行
11/7(日)
大阪のシニアハウスピルへ
小西綾さん
駒尺喜美さんを尋ねて
女の本の店
ミズ クレヨン ハウス
(定員50人)

●受講は無料です
●〈昼間×夜間〉コースとおして受講できます

《夜間コース》18:30～20:30

私流儀に生きてます

①10/21(木)
シャンピアホテル
名古屋総支配人 袖佳
木下 弓子

②12/16(木)
名古屋体力開発研究所
健康アドバイザー
長谷川メリー

(定員50人)

♥おわりに

合同講義
'94 1／29(土)14:00～16:00
「わがままの哲学 わたしのことはわたしが決める」
大学講師 若尾典子
著書「わがままの哲学」(学陽書房)
(一般公開します／定員100人)

●会場／四日市勤労者総合福祉センター(中央緑地内)
♥手話・託児用意します ●お申込み受付けは8月20日開始／先着順

●お申込み お問合わせ／四日市市諏訪町1-5 四日市市役所1階
女性課 ☎(51)1155代表

おさそいあわせてご入学ください

女性カレッジ'94

女が働くということを考える

●はじめに:

合同講義
〈一般公開・定員100人〉
9/17(土) 14:00～16:00
「専業主婦はいなくなる?」
㈱グループわいふ編集長 田中喜美子

〈昼間コース〉 "いま家事労働に問われること" 〈定員30人〉	①講義 9/22(木) 13:30～15:30 「家事労働はタダでしょうか」 講師 京都教育大学教授 関川千尋	②発表と話し合い 10/6(木) 13:30～15:30 「むつかしくなった子育て」 発表/子育てサークル"すくすくぼん" 辻 美恵 発表 橋北保育園長 小川祥子 ～女性カレッジ修了生と交流～
③ブンブン会議 10/24(月) 13:30～15:30 「老後と家事労働」 ホームヘルパーさんと語り合う	④フォーラム 11/19(土) 14:00～16:00 「男も女も楽しくやりましょ 家事・育児」 おはなしとコーディネイト 作家 村瀬春樹 おやさま(子どもの本専門店主 増田喜昭 一般公開します。カップルでご参加ください(定員100人)。	⑤私の発言 12/8(木) 13:30～15:30 「家庭科男女共修がはじまった」 作家 山下智恵子

〈夜間コース〉 "母性保護論争をもう一度" 〈定員50人〉	①講義 10/13(木) 18:30～20:30 「大正7年 与謝野晶子/山川菊栄/平塚らいてうの母性保護論争のなかみ」 女性史研究者 浅野美和子	②討論 11/28(月) 18:30～20:30 「わたしたちの母性保護論争」 女性史研究者 浅野美和子

合同学習旅行

11/13(日)

神戸市
「しあわせの村」
〈定員50人〉

●おわりに… 合同講義

12/17(土) 14:00～16:00
「女が働くということをもう一度考える」
弁護士 中島通子
〈定員100人〉

―― 昼間・夜間コース、とおして受講できます ――

●会場/四日市市立労働福祉会館(中央緑地内) ●受講無料
♥手話・託児用意します ●お申込み受付けは8月22日開始/先着順

●お申込み お問合わせ/四日市市諏訪町1-5 四日市市役所1階
女性課 ☎(54)8202(直通)

おさそいあわせてご入学ください。

女性カレッジ'95

女たちが政治を変える

はじめに
昼コース・夜コース合同
一般公開・定員100人
9/16(土) 14：00～16：00
〝私が女性に言いたいこと〟
尾崎行雄記念財団副会長　相馬　雪香

昼間コース・政治は男性だけのものじゃない

① 9/29(金)	② 10/5(木)	③ 10/19(木)	④ 11/2(木)
〝安心して暮らしたい〟	〝天理市議 加藤信子のたたかい〟	ブンブン会議 〝政治は男性だけのものじゃない〟	〝政治教育はどうなってるの〟
日本女子大学教授 一番ヶ瀬　康子	天理市議会議員 加藤　信子	松阪大学助教授 寺口　瑞生	三重大学助教授 岩本　美砂子

13：30～15：30／／定員 50人

⑤ 12/9(土) 〝ただ今模擬議会開会中〟

市長は…前社会福祉法人湘南学園長　中澤弘幸
子供の居場所づくり担当部長は…子供の本専門店主　増田喜昭
老人の安心づくり担当部長は…ウィミンよっかいち代表　稲毛由美子
いじめ対策担当部長は…「アイガモは翔んだ」著者　清水日出子
議長は…ディア四日市事業部企画担当部長　柳川平和
そして議員は…女性カレッジの受講生

13：30～16：00／／定員 100人／／**一般公開**

夜間コース・女性と参政権

18・30～20・30／／定員50人

① 10/26(木) 〝市川房枝と婦人参政権運動〟
財団法人　市川房枝記念会　常務理事　山口　みつ子

② 11/30(木) 〝女性市議会議員のあふれる思い〟

研修旅行
昼コース・夜コース合同
定員50人
11/19(日)
バスで……
国立民族学博物館（大阪）

- 昼間・夜間コース通して受講できます。
- 一般公開だけの受講もできます。

受講無料 ♥手話・託児用意します。

会場／／四日市市立労働福祉会館（中央緑地内）

おわりに
昼コース・夜コース合同
一般公開・定員100人
12/16(土) 14：00～16：00
〝女性の政治参画と「新しい時代」〟
早稲田大学教授　岡澤　憲芙

おさそいあわせて ご入学ください。
●お申し込み受付け**8月22日**(火)開始します（先着順です）— お申込み お問合わせ — 四日市市役所 **女性課** (54) 8202 直通 へどうぞ……

●女性カレッジ参加者数

		定員	参加者	託児
'93	昼コース	30	50 人	11人
	夜コース	50	51	
	公開講座	100	112	10
'94	昼コース	30	72	21
	夜コース	50	63	4
	公開講座	100	124	33
'95	昼コース	50	72	5
	夜コース	50	69	
	公開講座	100	110	16

特別公開講座
小林カツ代の「エコロジーシンプル宣言」
173 人

●参加者の声　～30歳代女性２人の声～

講座の内容を家に帰ってから夫と話した時、講座の内容が女性の視点からのものであるため、予想以上に反論されて、社会の不合理なことが自分の家の中でも根本的にあることを実感し、家庭の中から意識改革をしていかないと社会全体もかわっていかないんじゃないかと思いました。

本当に素晴らしい講座を聞くことができて感謝しております。小さな子どものいる専業主婦がいざカルチャーセンターに出かけようとしても遠い、高い、そして託児なし、八方ふさがりの毎日でもんもんとしておりました。そんな時にこの講座を知り参加させていただきましたがすべての面で満足できる講座でした。

子育てしたい 子育てもしたい

プロローグ　どうなる? 男と女のライフスタイル

12/8（日）13：30～15：30定員100人

岡澤 憲芙　早稲田大学社会科学部教授
総理府男女共同参画審議会委員
スウェーデン社会研究所理事

なぜ、スウェーデンで女たちの社会参画が著しく増えたのか。その結果、男たちの仕事や生活、考え方はどうなったのか。
そして、日本は…

公開

昼間コース　子どもとあそびたい

あそびのひみつ

12/14(土)13:30～15:30
河崎道夫　三重大学教育学部教授

子どもの遊びの心理学的研究が研究テーマ
保育園などで子どもたちと遊びながら研究をしている

自然と子ども～地球冒険塾

1/18(土)13:30～15:30定員100人
長江裕明　エリカインターナショナル代表

外務省退職後、自作ヨットで妻と娘とともに世界一周
アドベンチャースクールの開設を計画中

公開

チルドレンズミュージアムのお話し

2/8(土)13:30～15:30
増田喜昭　子どもの本専門店主

「絵本塾」「童話塾」を主宰
「子どもの絵本造形教室」を開くなど、遊びと学びのある子どもの居場所づくりにも励んでいる

夜間コース　子どもといっしょにいたい

男だって子育て～子ども観察記

1/14(火)19:00～21:00
広岡守穂　中央大学法学部教授

現代日本の社会現象に幅広い関心をもつ
1991年ベストメン賞を受賞
5人の子どもに恵まれ、子育てに奮戦する政治学者

男が育児で社会を休む?!

1/28(火)19:00～21:00
田尻研治　育時連代表世話人

大学在学中、ヨーロッパへヒッピー旅行。山岳部卒会社勤めをしながら、育児ストを毎日4年間行う

子どもへのおもいやり

2/19(水)19:00～21:00
岩城正光　子どもの虐待防止ネットワーク・あいち事務局長

宮沢賢治の童話に出会い、「弱い人を守りたい」との思いから弁護士に 弁護活動のかたわら児童相談所や保育園を訪問

昼間 夜間 合同で

ホームパーティー　ホンネで井戸端会議

3/1(土) 14：00～16：00
田中末義　和風レストラン店主

大阪、東京の料亭などで修業
四日市で和風レストランを経営
男の手軽な料理づくりと楽しいおしゃべり

子どもと研修旅行　海の博物館見学と館長のお話し

3/8(土)バスで鳥羽へ　定員50人
石原義剛
海の博物館館長
東海民具会会長
海を守る運動SOS代表

エピローグ　ナナハンライダーから一転　男性女性を越え、気ままに自由に生きる…

3/22（土）13：30～15：30定員100人
蔦森樹　文筆家

「アウト・オブ・ジェンダー」～
男でも女でもない生き方のススメ

公開

提供:「Trendsetter」/㈱オンワード・ライフデザインネットワーク

●公開講座へは女性の方もどうぞ

受講無料

主催・四日市市
［女性課
女性センター］

お申込み・11月19日(火)9時から
女性センターへ
お電話でどうぞ（先着順）
定員20人―公開講座100人

(54)8331

●昼間、夜間コース通しでも受講できます
●公開講座だけの受講もできます
●手話通訳を用意します。事前にお申し込みください。
●昼間コース、公開講座は託児を用意します。事前にお申し込みください。

会場は四日市市
女性センター

1994 ――

女性自治ゼミナール ―― 女性カレッジワンランクアップ人材養成講座 ―― 1994

届けたい　わたしの気持ち　暮らしを変える生活人の声

四日市市役所には各課に市民の意見を問う審議会がたくさんあります。
その審議会委員のうち女性は今、10.6％と低率です。
この率をアップさせるためにまず私たち女性が市政を学び、意見をもち審議会委員予備軍になりましょう♡

	日時	テーマと講師	場所
1	'94 10/1(土) 13:30～15:30	<女性の目でみるということ> 市女性課長　坂倉　加代子	中央総合勤労者総合福祉センター
2	10/8(土)	<私、審議会委員になります> ～現女性委員と語る 市社会教育委員　中山　相子 市都市提携委員会委員他　山下　よみえ	〃
3	10/22(土)	<四日市市の財政事情> 市財務課長　北川　保之	〃
4	11/12(土)	<環境問題を考える市民会議> ・バスに乗って―市内のゴミ処理場 リサイクルセンター他 市生活環境課ごみ減量推進担当副参事　芳野　茂	〃
5	11/26(土)	<在宅福祉というけれど> 在宅ボランティア　飯田　淳子 ホームヘルパー　岩　清子 訪問看護婦長　門脇　幸代 市立病院ソーシャルワーカー　片岡　千都子	〃
6	12/10(土)	<女性が安心して子どもを産み育てるには> 介護者　杉本　保子	〃
7	'95 1/21(土)	・四日市市長と語ろう <夢のあるまちづくりをしたい> 環乳幼児教育センター所長　鈴山　雅子	〃
8	2/18(土)	<四日市ってどんなまち?> 四日市市長　加藤　重詞 市民部長　小畑　廣次	〃
9	3/4(土) 13:00～16:00	・お茶を飲みながら国際交流 ～暮らしやすさ・子育て・男女平等・生涯学習etc インド・アメリカ・オーストラリア・ブラジル・中国のお客様	四日市シティホテル
10	3/18(土)	<自己表現に挑戦> (有)ヒューマンネット・あい代表　岸田　眞代 <受講生で決めるプログラム>	勤労者総合福祉センター 〃

定員20名

主催　女性自治ゼミナール企画グループ／四日市市

9月5日より申込みを受け付けます（先着順）

・申し込み問い合わせ先
四日市市役所
女性課
54―8202
（直通）

受講は無料
8回のみ
1，000円

今までに三重県主催の婦人問題アドバイザー講座や、四日市市役所の女性カレッジを修了した方にご案内しました……

私たちが企画しました ―― このゼミナールは30代から60代のわたしたち女性7人が企画しました。今、くらしを考えようとする女たちのうねりを市政につなげるお手伝いができたらと思いました。

飯田淳子　伊藤悦子　奥村光子　小橋和子
茶碗谷由里子　中嶋敦子　宮下香穂里

参加21人

子育てサポートボランティアのためのゼミナール 1995

女性カレッジワンランクアップ講座

今、子育てサポートが必要です。

なぜ？

・
・
・

1996

講座１．＜社会の変化から＞

日本道徳教育学会理事

中澤　弘幸

2/3 (土) 1:30~3:30 （一般公開）

講座２．＜地域と子育ての視点から＞

子どもの本専門店主 増田　喜昭

2/10 (土) 1:30~3:30

講座３．＜子どもとお母さんの立場から＞

放送大学三重地域学習センター長

浜田　滋子

2/17 (土) 1:30~3:30

講座４．地域の保育園で実習

―子どもたちにあそんでもらう

こ
間の

講座５．＜子どもとの関係変えてみませんか＞

小児科医　毛利　子来

3/16 (土) 1:30~3:30 （一般公開）

会場／四日市市労働福祉会館（中央緑地南入口） 定員２０名

●受講ご希望の方は電話で女性課までお申込みください（１月２６日受付開始）

●託児（講座5のみ）と手話（一般公開のみ）を用意しました。前もってお申し込みください

●受講は無料

お問い合わせ・お申し込み先／四日市市諏訪町1-5　四日市市役所女性課　☎(51)8202　直通

私たちが企画しました・飯田淳子　伊藤悦子　奥村光子　小沢ゆう子　小椋和子
鈴木あゆみ　高鶴谷由里子　中嶋敦子　山本友直　山本晴子

参加27人／一般公開160人

子育てサポートボランティアのためのゼミナール ——— 1996

女性カレッジワンランクアップ講座

今、子育てサポートが必要です。part2

講座１．＜子どもたちは今…＞
上野商業高等学校校長・前乳幼児教育センター所長
鈴山　雅子
9/28（土）
1:30~3:30

講座２．＜女性施策検討会議のメンバーとの交流会＞
-ファミリーサポートセンター・四日市はどうなるの-
10/19（土）
1:30~3:30
「女性施策検討会議」四日市市役所女性職員１３人がファミリーサポートセンターについて検討しています

講座３．＜子どものあそび①＞
伝承あそび・草木あそび ┐野外で地域のおとしよりと一緒に
11/9（土）
・会場がかわります　10:00~12:00

講座４．＜子どものあそび②＞
-絵本と子ども　そしておとな-
女性課長　坂倉　加代子
11/30（土）
1:30~3:30

講座５．＜子どものこころ＞
-子どもの立場に立って考える…カウンセリングから-
愛知淑徳大学　教育心理学教授
富安　玲子
12/7（土）
1:30~3:30

講座６．＜子どもとのかかわり懇話会＞
-全講座参加者との交流会-
1/25（土）
1:30~3:30

☆一般公開
講座７．＜子どものからだ＞
東京都八王子中央診療所長
山田　真（まこと）
3/9（日）
1:30~3:30

プロフィール
「手づくり医療」をめざす町のお医者さん。「障害児を普通学校へ全国連絡会」の世話人をつとめるほか、医療被害者運動、障害児（者）の運動などにもかかわる。
著書「子育て-みんな好きなようにやればいい」「子どもと病気」「はじめてであう小児科の本」など

会場／四日市市女性センター（本町プラザ3F）　定員３０名
＊講座３は南部丘陵公園。雨天の場合は四郷地区市民センター

●受講ご希望の方は電話で女性センターまでお申し込みください（受付は9月5日から…先着３０名）
●託児と手話を用意します。前もってお申し込みください
●受講は無料

お問い合わせ・お申し込み先/四日市市本町9-8　四日市市女性センター　☎(54)8331　直通

私たちが企画しました・飯田淳子　板倉朝子　奥村光子　小沢ゆう子　小橋和子
千田幹子　中嶋敦子　中山路子　山本友恵　山本晴子

参加47人／一般公開120人

3 派遣事業 —— 全国レベルの会議への派遣

派遣先	派遣者			
	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
高齢化社会をよくする女性の会	H5.9.1(東京) 伊藤マサ子(老人介護ボランティア) 中村幸子(ホームヘルパー) 市川典子 (女性職員による施策検討会議)	H6.8.10～8.17(大阪) 奥田かなえ (女性職員による女性施策検討会議) 田中洋子(ホームヘルパー)	H7.9.9～9.10(金沢) 川上清子 (女性自治ゼミナール受講生) 川崎秀子(ホームヘルパー)	
婦人国内交流研修 (埼玉 国立婦人教育会館) (公募)	H5.9.28～10.1 竹内信子 横井慶子 宮崎さとゑ 三木ひろ子 岡 明子	H6.9.27～9.30 伊藤明美 山田真美子 森田留美 田口清美 大河平敏子	H7.11.8～11.11 赤井真知子 服部千鶴子 西村尚子 片山壽恵子 伊藤恵美子	H8.11.6～11.9 佐藤久子 国保光子 院南幸子 山路康子 岡崎陽子
日本女性会議	H5.10.27～10.29(福岡) 宮崎伶子(ウイズ'92) 伊藤佳代 (女性職員による施策検討会議)	H6.9.8.～9.10(和歌山) 廣田紀代(ウイミンよっかいち) 寺口瑞生(懇話会座長)	H7.10.11～10.13(新潟) 増田喜昭(懇話会メンバー)	H8.10.14～10.16(宇都宮) 中嶋敦子(市婦人会連協) 後藤恵美子(市職員・さるびあ)
KYOのあけぼのフェスティバル	H5.11.14(京都) 小林芳子(市婦連) 山田真美子(〃)		H7.10.1(京都) 岡 明子(桜地域女性会議) 千田幹子(川島地域女性会議) 福本登美子(下野地域女性会議)	H8.10.26(京都) 瀬古紀子(日永地域女性会議) 山口敏子(〃) 山本美代子(常磐地域女性会議)

●婦人国内交流研修日程

内容＼年度	平成5年度 〈当ってラッキーグループ〉	平成6年度 〈当ってラッキーグループII〉	平成7年度 〈ワナビーズ〉(あやかり隊)	平成8年度 〈さるびあ'96〉
事前学習	四日市市の状況・女性行政の状況・会議のもち方・司会の仕方など			
見学など(往路)	東京岩波ホールで映画観賞「森の中の淑女たち」	都庁	豊島区男女平等推進センター	足立区女性総合センター
交流会をもったグループ	旭川市、豊栄市(新潟県)女性グループ他	栃木県、大分市女性グループ他	小樽市、金沢市甲府市女性グループ他	長万部町、平内町小樽市女性グループ他
見学(帰路)	丸木美術館 アイセル(静岡市女性センター)	フォーラムよこはま	東京国立博物館	・東京ウイメンズプラザ ・クレヨンハウス (女性の本の店)
事後学習	反省・まとめ・さらなる学習			

※**ジェンダーとは** —— 社会的、文化的につくられた性差

- 女性たちが新しい考えで自分たちの生活をよくするために努力している姿が多くありました。
- 自由プログラムの「女性学入門」ではじめてジェンダー※という言葉を耳にしました。—— これは女性だけが学ぶのではなく男性の教育も必要と思いました。
- 私たちメンバーだけのパジャマパーティーはとても楽しかった。
- 帰ると玄関に明りがともっていた。多くの女性と交流して私は今迄何をしてきたのだろうと考え、くやしくなり後片付けをしながら声を出して泣いてしまいました。
- 老人介護の問題はまだピンときませんでしたが、しかし何事も人間に関わることはみな基本は人権にあるように思いました。
- 嵐山の婦人教育会館は広い自然の中にあり、女性の心身を磨くのに立派な会館でした。

〈特別派遣事業〉

世界女性会議へ

●広報よっかいち1995年２月上旬号で参加募集
46人が応募――レポート審査

派遣メンバー

音楽大学学生の	岡田　朋子
中国語の通訳をしている	新田　知子
専業農家の	北川　孝子
地域こども文庫を開いている	竹本ゆりえ
商店を経営している	竹腰　　葵
食品加工業を営む	石田寿賀子
介助ボランティアを続ける	飯田　淳子
地域でボランティア活動をしている	小橋　和子
小説家で社会人大学生の	中山みどり
市婦人会連絡協議会の会長	山下ふみゑ

特別参加

市議会議員	市川　悦子
市役所女性役職員〝さるびあの会〟	藤山　逸子

随行

市女性課長	坂倉加代子
市国際交流課	樋口　　孝
市広報課	駒田　理香

添乗員

日中旅行社	小野寺義登

事前学習会

●５月13日(土)　13:30～15:30
- 世界女性会議の歴史的背景／市女性課より
- 友好都市天津市のこと／市国際交流課より
- 中国事情／日中旅行社より

●６月25日(日)　13:30～15:30
- 簡単な中国語会話を、メンバーの新田知子さんより教わる
- 天津市での交流内容について、メンバーの希望をまとめる

●７月24日(月)　18:30～20:30
- 中国語会話の復習
(以後はテープによる学習になる)

世界女性会議の様子が知りたい

〈講　演〉
世界女性会議（コペンハーゲン・ナイロビＮＧＯフォーラム）に参加して…
女性問題研究家　高橋ますみ

会議はそれぞれの開催国のやり方で運営されていること、言葉が分からないので何でも資料をもらってくることなど、アドバイスをいただく

●８月９日(水)　18:30～20:30

天津の女性たちのことが知りたい！

天津市看護婦学校英語教師
現在　三重大学大学院在学中の李 絢さんを
お迎えしてスライドを見ながらの
楽しいおしゃべり

●８月21日(月)　18:30～20:30
- 壮行会　　加藤　宣男　助役
佐々木龍夫　市長公室長
南部　和男　市民部長
岡崎　雄治　国際交流課長
- 旅のエチケットなど／日中旅行社より

日　程

8月26日(土)	四日市市出発
8月27日(日)	関西空港発 北京着 〈NGOフォーラム手続き後　天津へ〉
8月28日(月)	・天津外国語学院 （日本語科の学生と交流） ・ホームビジット ・天津市婦女連合会および外事弁公室と懇談 ・天津市人民代表大会および人民政府を表敬訪問
8月29日(火)	・老人活動センター訪問 ・天津の第一幼稚園訪問 ・じゅうたん工場訪問
8月30日(水)	世界女性会議・NGOフォーラム開会式 〈北京・オリンピックスポーツセンター〉
8月31日(木)	NGOフォーラム〈懐柔県〉
9月1日(金)	NGOフォーラム〈懐柔県〉 ワークショップへ参加
9月2日(土)	北京市内視察
9月3日(日)	北京市内視察 北京発（帰国の途に） 四日市市着

中国へ行ってきました

●北京の夏は世界の女性の熱気でいつまでも暑く感じました。

●世界の舞台に共演できた開会式の感動は忘れられない。おそらく生涯一度きりの思い出だろう。子連れの女性の参加などを見ると、みんな同じ女の時間を生きているのだと思った。

●ＮＧＯ女性フォーラムの会場は、北京から50km・バスで１時間30分弱の懐柔県という農村地帯に設けられました。北京の街の人の声によれば、世界から集まる女性の中に煽動的な女性が居ると困るとかと聞きました。又、参加できなかった国もある様でした。国を批判すると言うことでなく、参加という基本的な事すら可能にならない国があり、そこに住む女性が居ると言う事等を皆で学べる機会を、望んでいます。参加できましたことを感謝します。

●エイジズム、自分の人生を自分で生きよ…様々な言葉が頭の中を渦巻いている。消化不良の状況ながら見えてきたことがある。女は今までもこれからも、八方塞がりの状態を自らの力で打ち破り権利を獲得していく。生き方を誰かに導いて欲しいなど甘えた考えだった。

●中国の農村は日本の30年前と同じといわれているが、日本は機械化が進んだのに、生活にゆとりがないのはなぜだ!?これでは農家の後継者は育たない。これからは経営のパートナーである若い主婦から変わらなくては！力をつけて動き始める時代と思う。世界の女性達のパワーを肌で感じた私は、自分の周囲から刺激を与えたい。

●結婚以後、通称にて我が家は夫婦別姓を実践しているが、さまざまな障害があった。中国に旅立つ日、夫婦別姓の民法改正の中間審査の内容が報道されていた。私には、それがはなむけのように感じられた。日常生活に埋没することなく、自分で頑張った人生だったねと思えるように年を重ねていきたいと思う。

●世界中で平和や暴力と戦いつづけている女性たちが大勢いることを改めて知った。環境の最大の破壊は、戦争と核であるといっていた。平和で安心して暮らせるためには努力が必要。女性たちがもっと考え、発言し、そして行動する!!

●四日市女性訪中団に参加して、強く印象に残った一つは、多くの〝すばらしい女性たち〟に出会えたことだ。天津の懇談会で会見した婦女連の素顔の美しい、凛とした女性達、鮮やかな民族衣装に黒い肌、すきとおる白い肌が映えていた懐柔県の、ワークショップで出会ったいきいきとした女性達。そして何よりも力強く感じたのは、９日間ご一緒した、20歳代から70歳代までのそれぞれに一生懸命で愛すべき個性の持ち主の四日市の女性達。今この女性達と同じ地球に生を受けている事に感謝して、目と耳は、世界に、日本各地にアンテナを張りながら、足をこの四日市にしっかりと踏んずけて、仕事を通して、地域の活動に参加する事を通して、私の人生の後半を過ごしたい。これから何回の女性会議に出会えるかしれないけれど、まずは2000年の女性会議までに「女を磨かなくちゃ」。

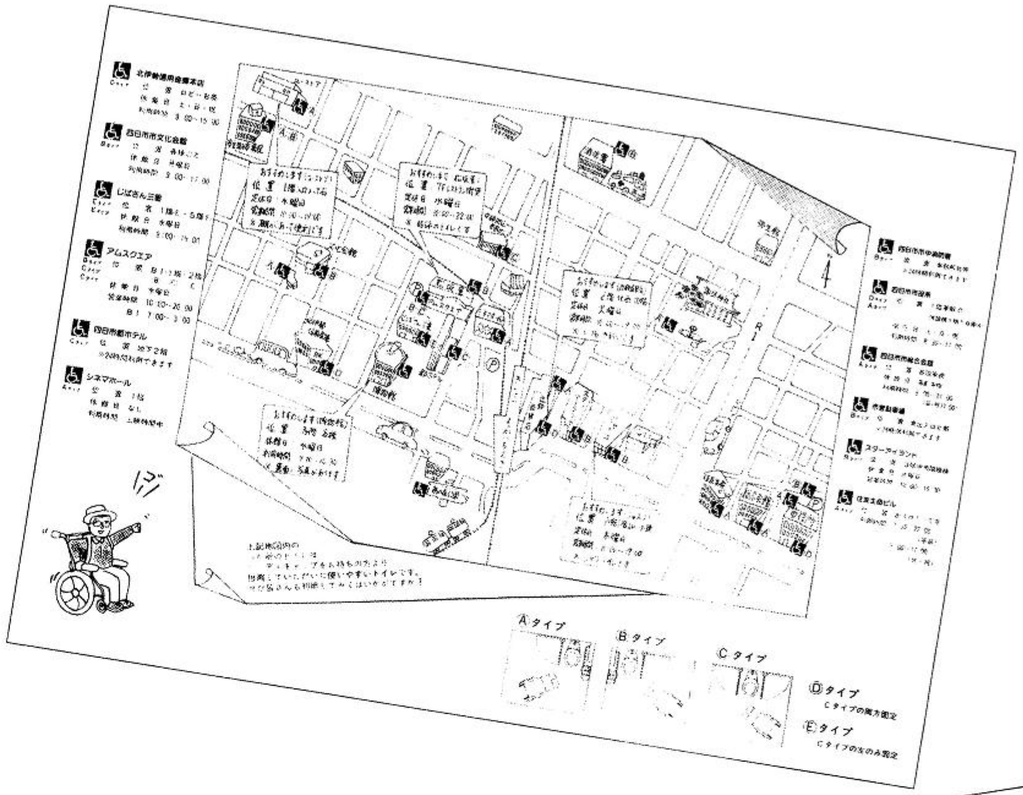
●すべての事が順調に進んだ事に、改めて周りで準備していてくれた人がいてこその旅だったと思った。中国の学生の一生懸命さを忘れないように、私自身もこれから学んでいかなくてはならない。自分の会社を作りたいと行っていた女子学生のパワーに驚いてばかりはいられない。私があの時、あの場所で世界中の人達と平和、友好を願ったことに意味を付けていくのは、これからだから。

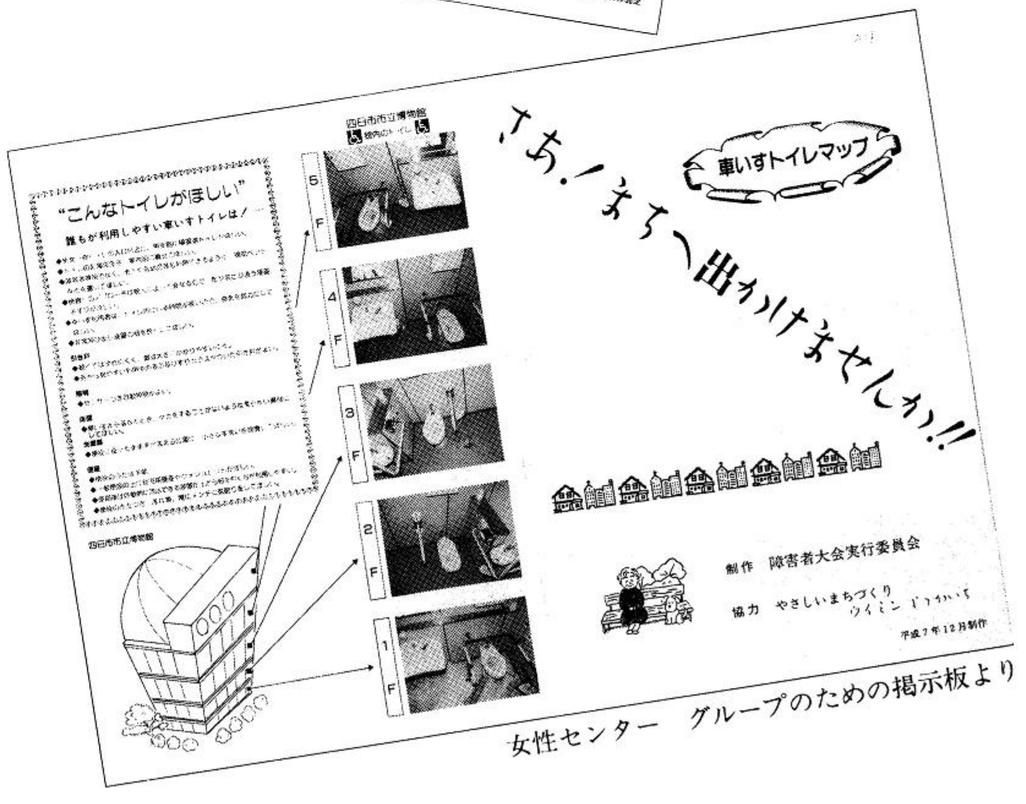
●私たちは北京女性会議へ行ったことで四日市市内での新しい仲間づくりができ、心の交流ができました。この事はすぐには成果として現れなくても、確実に大きな力となるでしょう。北京会議では360項目にのぼる行動綱領の採択があり、どの様に実行するかが今後の問題です。女性の能力の強化に結びつくよう私たちも学んで行きたいとおもいますし、折から「女たちが政治を変える」講座が開かれています。女性の将来を見据えて学ばねば、と思っています。

パンフレットにまとめました。

4 グループ支援 —— グループの学習支援

平成5年度	・ウィミンよっかいち（学習テーマ／女性とまちづくり） ・すくすくポン（子育て） ・ウィズ'92 （女性問題） ・万華鏡の会（カウンセリング） ・ひな子の家（地域福祉）
平成6年度	・ウィミンよっかいち（障害者とまちづくり） ・すくすくポン（子育て） ・ウィズ'92 （女性のための施設） ・万華鏡の会（カウンセリング） ・ひな子の家（地域福祉）
平成7年度	・ウィミンよっかいち（まちづくり・福祉・女性） ・すくすくポン（子育て） ・ももの会（地域での子育て） ・ウィズ'92 （女性の生き方） ・ステップⅠ（四日市に暮らす外国人女性たちとの交流）





女性センター グループのための掲示板より

●人材養成と発掘事業のまとめ

●主な人材養成・発掘事業 ———— 女性課　1994. 11. 20

	平成5年度（女性課誕生の年）	平　成　6　年　度	平　成　7　年　度
テーマ	・課題を探る年 ……⇨ ・庁内からの出発 ・女性課のアピール	（課題）①仕事と育児を支える条件整備　②男女平等教育のすすめ ③審議会等への女性の登用　④女性のための施設整備 ⑤相談体制づくり　⑥更年期女性への配慮 ⑦単身女性等への不利益の除去 ・課題を明確にした啓発活動、人材養成、女性施策プランづくり	・世界へ ———— そして行動は地域 ・21世紀にむけての女性施策プラン実現のために
事業	①女性カレッジ（10回）…… 別紙 （カレッジ修了生の活用—— ブンブン会議の司会など 地元男女の講師の登用など含む） テーマ〝家族　幸せですか〟 ②派遣事業 ・婦人国内交流研修（5人　一般公募） ・日本女性会議（2人　カレッジ修了生他） ・高齢社会をよくする女性の会 （2人　ヘルパー、女性職員） ・京のあけぼのフェスティバル （2人　女性職員、婦人会員） ③女性研究グループ支援（グループ学習会の講師謝金負担）　5グループ	①女性カレッジ（10回） テーマ〝女が働くということを考える〟 ②女性自治ゼミナール（10回）—— 女性カレッジ修了生対象※ ワンランクアップ人材養成講座（審議会等への女性登用のため） ③派遣事業 ④女性研究グループ支援 ⑤事業の企画を任せる人材養成　それぞれ企画室を設ける ・女性自治ゼミナール※ ・「女性のための施設調査研究」 ・「地域女性会議」3ヶ所 （女性カレッジ修了生他／派遣事業参加者／女性研究ｸﾙｰﾌﾟﾒﾝﾊﾞｰ他）	①女性カレッジ（10回） テーマ〝意識は男女共生、行動は地域〟 ②子育て支援ボランティア養成講座※（10回） 女性カレッジ修了生を対象に「女性自治ゼミナール」と隔年で実施 ③派遣事業 ・従来どおり ・世界女性会議への派遣（北京、天津7泊8日） ④女性研究グループ支援 ⑤事業の企画を任せる人材養成 ・子育て支援ボランティア養成講座※ ・「ファミリーサポートセンター事業調査研究」 ・「地域女性会議」5ヶ所
庁内	①庁内女性職員による女性施策検討会議（15人）6回 ②庁内相談員研修会　1回 ③課内会議（毎日のように） ④職員による先進地視察（横浜ﾌｫｰﾗﾑ 静岡市ｱﾐｶｽ他）	①　②　③　④　は同じ ⑤女性課職員のｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ研修（軽井沢　2人　3泊4日）	①　②　③　④　⑤　は同じ ⑥ﾌｪﾐﾆｽﾄｾﾗﾋﾟｨ研修会（グループワーク）10回 （庁内相談員、ワーカー、窓口指導者など対象）
その他	女性課の事業すべてが人材養成と考える ———— ○女性施策プランづくりの懇話会メンバーへの登用 ○女性グループ・団体のネットワーク事業（女性のつどい他） ○課題と事業、事業と事業、参加者と事業をつなげる視点 —— 人材養成のうねりづくり		

1 女性のつどい

1994

女性のつどいよっかいち '94

日 1994年3月19日(土) 10時30分~16時20分
所 四日市市文化会館 第2ホール、第4ホール（入場無料）

しあわせになりたい

四日市に暮らす女たち

女たちのネットワーキング！

- 四日市市婦人会連絡協議会
- ウィミンズカレッジ修了生の会
  - 「ウィミンよっかいち」
  - 「すくすくポン」
  - 「WITH'92」
- 向日葵会
- 老後を考える集まり
- バンプキンの会
- 四日市市民生委員協議会連合会女性部
- 四日市消費者協会
- 四日市生活改善グループ連絡会
- 四日市母子寡婦福祉会
- 四日市友の会
- 四日市市ＰＴＡ連絡協議会母親部
- ＪＡ三重四日市女性部
- 四日市商工会議所婦人会
- 新日本婦人の会四日市支部
- 四日市市食生活改善推進協議会
- きずなの会

〔主催〕
◯女性のつどいよっかいち '94 実行委員会
◯四日市市

お問い合わせ
四日市市役所
市民部「女性課
TEL 0593-54-8202

10:30 〈ワークショップ〉

してほしいこととできること
老人給食サービス

県内（名張市、川越町）のグループや地区市民センターで活動するグループ、これからボランティア活動しようと思っている者たちで語り合う。
・ビデオ放映 ボランティア活動など
・レクレーション

12:30
13:00

13:30 〈オープニングファッションショー〉

いつまでも美しく
ちょっとしたオシャレでこうも変わる

モデル……参加団体メンバー
エスコート……市長、市議会議長、教育長、市民部長、ボランティア連協会長
フィナーレ……市長
〈四日市の女性たちへメッセージ〉

14:00 〈お 話〉

高齢者にやさしいすまい
大野 廣子 名古屋女子大学教授

15:00 〈寸劇とトーク〉

こんなときどうする？
女性の選択

寸劇のあと、登壇者と会場参加者を交えて
こんなときどうするか？ の意見交換

・寸劇
①女が仕事を続けられなくなった時
②寝たきりへの道
③私だって外へ出たい
・トーク出演者

ジュネジャ インドウ	四日市大学講師
ジュネジャ レカ ラジュ	太陽化学研究員
鈴木 廣子	看護婦
山下 ひさ子	老人会
市川 公子	グループ「すくすくポン」
夏目 紫帆	銀行員
山口 敏夫	会社員

・コーディネーター
高橋 ますみ 婦人問題研究家

16:15 閉会
16:20

ロビーで介護用品の展示をします

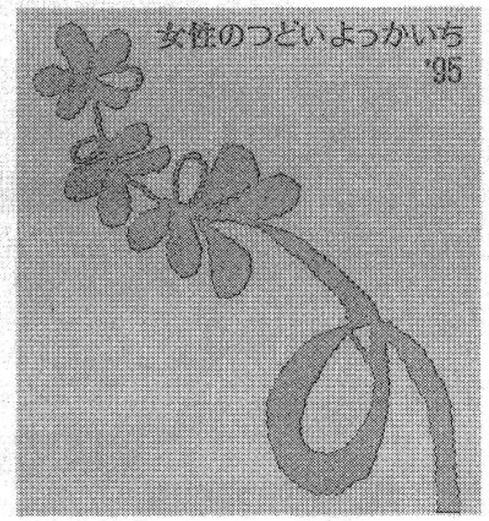
よっかいちに住む女性写真家たちの〈あんぐる・写真展〉
桑原ゆり子 ／ 成田光子 ／ 篠宮知子 ／ 河村紀子

◯手話通訳と託児あります。（託児をご希望のかたは前もって女性課にご連絡ください。）

しあわせになりたい

――四日市に暮らす女たち

女性のつどいよっかいち'95



■フリーマーケット

■フォークダンス

■健康体操

■寸劇

■シンポジウム

■写真展

●1995年2月4日(土) 10:00~16:00
●四日市市文化会館 第2ホール・第4ホール ●入場無料

●主催／女性のつどいよっかいち'95 実行委員会
四日市市
――四日市市役所・市民部・女性課
☎0593(54)8202

女性のつどいよっかいち'95

女たちのネットワーク!!
- 同日労会
- 四日市市婦人会連絡協議会
- 新日本婦人の会 四日市支部
- 四日市生活改善グループ連絡会
- 在宅介助 きずなの会
- JA三重四日市女性部
- 四日市市PTA連絡協議会母親部
- 四日市女の会
- 四日市消費者協会
- パンプキンの会
- 四日市商工会議所婦人会
- 四日市母子寡婦福祉会
- 四日市市民生児童委員協議会女性部
- ウィミンズカレッジ修了生の会
- 四日市市食生活改善推進協議会
- 福祉の店ボランティアの集い

第4ホール 10:00

〈フリーマーケット〉
- 花の苗
- ごぼうパン・手作りクッキー
- 骨物いろいろ
- アクセサリーの病院/自分で直そ! 指導 大川 幸子
- 福祉の店
- 子どもコーナー/リフォーム布おもちゃで遊ぶ

(特別参加)
- 市役所女性職員"さるびあの会"の店

昼食…五目ごはん販売します

第2ホール 13:00

司会 田中 明子

〈オープニング〉
- フォークダンス
  日永フォークダンス会ポルカ
- 市長メッセージ
  "四日市の女性たちへ"
- みんなで健康体操
  指導 米川 郁子

13:30

〈寸劇とシンポジウム〉

国際家族年を終えて……
"家族からはじまる小さなデモクラシー"

- 寸劇「こんな家族どう思う?」
  ①核家族編
  ②三世代同居編
  ③血縁のない家族編
- シンポジウム出席者
  宇佐美正二郎／連合自治会会長
  北村暁美／弁護士
  増田喜昭／子供の本専門店主
  山下智香／市保健婦
- コーディネーター
  鈴山雅子／県乳幼児研究所所長

16:00

撮られる女性から撮る女性へ〈女性写真展〉"いろんな家族"

お問い合わせ／四日市市役所
市民部・女性課
☎0593-54-8202

主催／女性のつどいよっかいち'95実行委員会・四日市市

○手話通訳と託児あります。(託児をご希望のかたは前もって女性課にご連絡ください。)

ご招待●

しあわせになりたい—四日市に暮らす女たち

フリーマーケット・写真展・ビデオ上映・合唱・ワークショップ・寸劇
そしてシンポジウム

戦後50年—女は強くなったと言うけれど

女性のつどいよっかいち '96

女性のつどいよっかいち'96

戦後50年・女は強くなったと言うけれど……

	管理棟2階（事務所レストランの2階です）				第2ホール			
11:00	フリーマーケット 管理棟2階ロビー 贈答品・不用品 手づくり小物 ビーズ 藍染製品など お昼に五目ごはんを販売します 13:30まで	写真展 第2会議室 ①平和がただよう一枚の写真 ②目で見る女性グループ活動 15:00まで	サロン 第3会議室 ビデオ 「八十七歳の青春—市川房枝生涯を語る」を放映します。 15:00まで	12:30~13:15 ワークショップ 第3ホール 女たちが語る四日市空襲	13:30~ オープニング 誰もが口ずさんだうた 四日市少年少女合唱団 ●鐘の鳴る丘 ●青い目の人形 ●青い山脈 市長メッセージ "四日市の女性たちへ。	13:50~ 寸劇 ①戦後50年農村の女たち ②ほんとうに女は幸せになったか ③50年後の四日市の女たち	14:20~ シンポジウム 女は強くなったと言うけれど ●コーディネーター 山下 智恵子 作家 ●シンポジスト 北川 孝子 グリーンサークル（農業サークル） 郭 慶華 四日市地域経済研究所特別研究員 田口 鉄久 三重西幼稚園長	13:30 15:45

女たちのネットワーク!!

- 四日市市婦人会連絡協議会
- 新日本婦人の会四日市支部
- 福祉の店　販売ボランティアの集い
- 四日市市食生活改善推進協議会
- 四日市母子寡婦福祉会
- 四日市更生保護婦人会
- 四日市法人会女性部会
- 四日市市民生児童委員協議会連合会女性部
- 四日市商工会議所婦人会
- 四日市消費者協会
- 在宅介助きずなの会
- 四日市市PTA連絡協議会母親部
- JA三重四日市女性部
- 四日市婦人ロータリー
- わかば共同作業所
- 四日市友の会
- 向日葵会
- パンプキンの会
- ウィミンよっかいち
- ウィズ'92
- あじさいの会
- やまびこ

（順不同）

1996年1月13日(土)
11:00~15:45

四日市市文化会館
第2ホール・第3ホール ほか

手話・託児（軽食付）を用意します。
前もってお申込みください。

女性のつどい よっかいち'96 実行委員会
お問合わせ／四日市市役所 女性課 TEL0593(54)8202
FAX0593(59)0284

入場無料

女性の
つどい
よっかいち'97

しあわせになりたい　四日市に暮らす女たち

しあわせにしたい　四日市の子どもたち

フリーマーケット
写真展
マリンバ演奏
講演会
ワークショップ

1997年3月15日(土) 11時～15時45分●四日市市文化会館

□主催／女性のつどいよっかいち'97実行委員会・四日市市
■入場無料

しあわせにしたい　四日市の子どもたち

11:00　12:30　13:00　14:20　15:45

フリーマーケット（11:00～13:00）
パン・クッキー・お弁当・焼き菓子
家庭用品・手作り小物・環境にやさしいアクリルたわし　（第3ホール）

写真展（11:00～15:00）
こどもの写真展　（第4ホール）

オープニング
（12:30～12:55）・中日マリンバミュージックセンターによるマリンバ演奏
（12:55）・市長メッセージ（四日市の女性たちへ）　（第2ホール）

ご夫妻のトーク（13:00～14:00）
三重大学学長　武村　泰男　氏
三重県男女共同参画推進協議会会長　武村　洋子　氏
"私たちの子育てストーリー"　（第2ホール）

ワークショップ（14:20～15:45）
♡地域でできること（第4ホール）
老人と子どものかかわり・学童保育
♤子育ての不安と不満をぶちまける（第2会議室）
おいお母さんの言いたい放題
♧男性の家庭参加（第3会議室）
家庭参加する男性たちのお話

地域で活動する身近な方々と子育てのこと考えよう…

●手話・託児（おやつ付）を用意します
（ご希望の方は前もって女性センターまでご連絡ください）

お問い合わせ ● 四日市女性センター☎0593-54-8331
四日市市本町9-8 本町プラザ3F

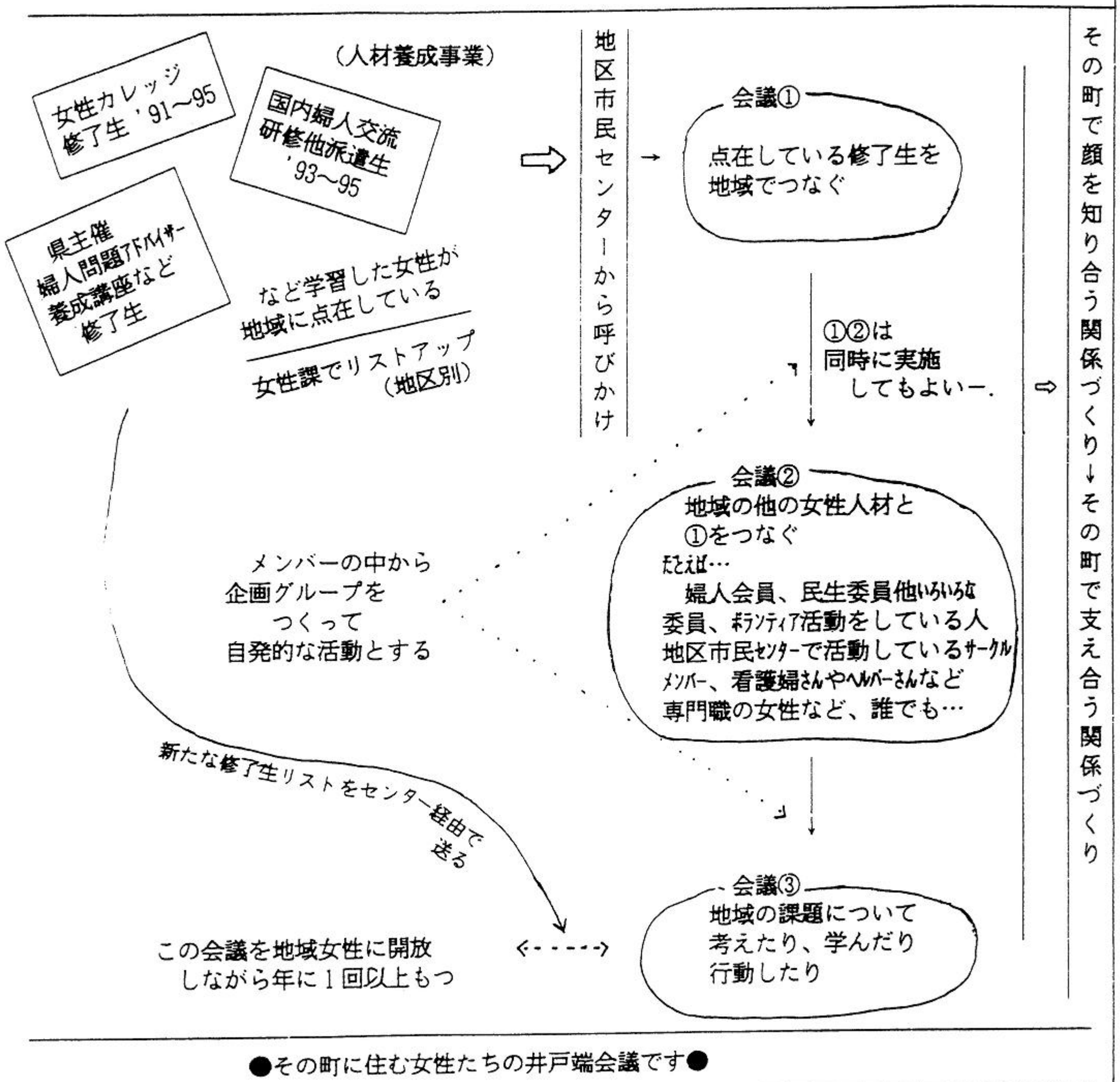
おんなたちのネットワーク

- 四日市市婦人会連絡協議会
- 新日本婦人の会四日市支部
- 福祉の店　販売ボランティアの集い
- 四日市市食生活改善推進協議会
- 四日市母子寡婦福祉会
- 四日市更生保護婦人会
- 四日市法人会女性部会
- わかば共同作業所
- 四日市商工会議所婦人会
- 四日市消費者協会
- 在宅介助きずなの会
- 四日市市PTA連絡協議会
- JA三重四日市女性部
- 四日市婦人ロータリー
- 四日市市民生児童委員協議会連合会女性部
- 四日市友の会
- 向日葵会
- パンプキンの会
- ウィミンよっかいち
- ういず92
- やまびこ
- ひなこの家

2 地域女性会議 ——— 平成6年度より実施

地域女性会議とは…

ねらい ― ・女性カレッジ等修了生の地域での活用
・女性の声を集める
・まちづくりへの女性の参画



●その町に住む女性たちの井戸端会議です●

特色 ― ・「会」をつくるのではなく「会議」を重ねて地域でそこに住む女性たちのふれあいを広げる
・会議は役所主導ではなく女性たちが企画、運営する
・地域に合ったやり方ですすめる
・ゆるやかな結び目のネットワーク

地域女性会議の状況

	川島地域女性会議	桜地域女性会議	下野地域女性会議	常磐地域女性会議	日永地域女性会議	
平成6年度	・川島地区市民センターを利用しているすべての女性グループ、婦人会、民生委員が参加 ・みんなで「ぶんぶん会議」をしながら出てきた問題について学習、行動 ・いじめ懇話会 ・川島駅の階段について	カレッジ・さくらんぼ…女性課の講座等を受けた点在する女性たちの集まり ・講座の開催 「女性のための人間関係講座」 ・フリーマーケットの開催 「環境と福祉を考える」	・「まちづくりと女性」をテーマに井戸端会議 ・婦人会員、民生委員、ボランティアの方も参加			
平成7年度				・〝地域で子育て〟をテーマに ・懇話会 ・交流会 ・野外で運動会など	・地域の「道」をテーマに「日永散策マップ」作成中 ・子どもやおとしよりに呼びかけながら、やさしいまちづくりを提言していきたい	
平成8年度						三重地域女性会議 羽津地域女性会議

3 働く女性リーダーのネットワーク ―― 四日市法人会女性部会・四日市商工会議所婦人会・じばさん三重・女性課のネットワークで開催

	1994	1995	1996	1997
いつ・どこで・定員	・3月22日(火) ・じばさん三重4F研修室1 ・30人	・3月17日(金) ・じばさん三重4F視聴覚室 ・30人	・3月27日(水)4時～7時30分 ・じばさん三重4F視聴覚室 ・40人	・3月27日(木)1時30分～4時30分 ・本町プラザ1Fホール ・70人
スケジュール	1：00―受付 1：30―おはなし ＜自分で切りひらくことこそ＞ 割田屋酒造(津島市)社長 桑原洋子氏 2：30―おはなし ＜これからの女性リーダースタイル＞ 産能大学事業本部 関根恒春氏 3：30―コーヒーブレイク 3：45―関根先生を囲んでお話し 17：00―閉会	1：00―受付 1：30―おはなし ＜女性リーダー論 経営感覚をみがく＞ 白沢事務所　白沢節子氏 2：30―グループ討議 15：45―発表 17：00―閉会	3：00―受付 4：00―おはなし ＜男性中心のビジネス社会で生き抜く法＞ 福沢恵子・ジャーナリスト 川村由美・敷紡㈱経営企画室 6：00―軽食をとりながら メンバーが交流 ゲストスピーチ ・三重婦人少年室から ・21世紀職業財団から 講師からのコメント 7：30―閉会	1：00―受付 1：30―おはなし ＜伸びる会社・伸びない会社＞ ㈱宮崎本店 代表取締役社長 宮崎由至氏 3：00―質問の時間 3：30―ティータイムと交流会 女性経営者と 宮崎店長との交流会 4：30―閉会
出席者	24人	26人	20人	60人

1 相談の実態

相談内容の推移

年度	保護・更正	夫婦・離婚	男女問題	家庭問題	生活問題	性に関する問題	職業問題	健康問題	その他	計
平成3年	17	113	3	23	5	3	1	10	3	178件
	9.5%	63%	2%	13%	3%	2%	0.5%	6%	2%	
平成4年	39	77	16	27	20	1	1	21	1	203件
	19%	38%	8%	13%	10%	0.5%	0.5%	10.5%	0.5%	
平成5年	41	132	30	51	56	5	17	38	86	456件
	9%	30%	6%	11%	12%	1%	4%	8%	19%	
平成6年	33	206	28	117	59	5	18	18	70	554件
	6%	37%	5%	21%	11%	1%	3%	3%	13%	
平成7年	31	265	17	79	52	6	11	11	104	576件
	5%	46%	3%	14%	9%	1%	2%	2%	18%	

児童福祉課 → 女性課に移る

特徴

◎3年連続して相談件数が伸びている

◎夫婦、離婚問題の割合が年々増えてきている
- 夫の浮気、借金、暴力、アル中、働きにでない、家庭のことは全てまかせたと言って何もしようとしない、姑舅との関係…etcに我慢することがあたり前だった女性達が〝自分〟を少しづつ前面に出し始めてきていると思われる。

◎一人の女性がいくつもの問題をかかえている
- 主訴で分類してあるが、夫の暴力、障害をもった子ども、姑との葛藤、借金、失業など、一人の女性がいくつもの問題をかかえているケースが多く見られる。

◎「その他」の内容は〝生きることへの不安や葛藤〟〝自分らしく生きたい〟など精神的な悩みが多く、継続的なカウンセリングが必要
- 夫が居ると、とても気を遣っている自分が居る。最近何もしたくない…夫への拒否反応かな？夫に対してイヤだなーと思うことが沢山ある。毎日が苦痛で、自分らしさがない。

◎相談件数としては少ないが、将来、専門的な相談として位置付けていくことが望まれるもの。

「性に関する問題」
- 17歳の息子が16歳の子と関係を持ち、その子が妊娠した。親としては下ろしてほしいと思っているが、その子は生むと言っている。

「職業問題」
- 5年間パート就労していた…もっと自分に合う仕事につきたい。

「健康問題」
- 8月頃から過食ぎみ、食べては毎晩下剤をかけている。体重が10kg増えてしまった。今は夜も眠れず、このままでは不安で…。

年齢別状況

7年度

人数 / 年代	人	%	未婚 %	既婚 同居 %	既婚 別居 %	離婚 %	不明 死亡 %
10歳代	5	1	100	0	0	0	0
20	181	32	16	34	27	23	0
30	173	30	2	57	21	20	0
40	112	19	0	52	28	20	0
50	82	14	17	54	17	7	5
60	17	3	0	76	0	6	18
70以上	5	0.9	0	0	20	0	80
不明	1	0.1					
計	576	100%					

特徴

◎20代、30代、40代とも離婚、あるいは別居をしながら、何らかの問題を抱えている人が、相談者の50%近くを占めている。

⇨20代、30代は子供も小さく経済的な問題もあり、その抱えている問題は複雑。

・内縁の夫に追い出され、子供をつれて実家へ身を寄せているが、母親も再婚しており、いつまでもそこに世話になり続けられない。出て行く先もないし、かなりの借金を抱え、どうしたら良いだろう。

・酒を飲んでは暴力をふるう夫と別れたい、今は別居中。夫は本人とは別れても、子供は渡さないと言っている。話し合いではとても解決できない。

◎60代、70代の相談は22件（全体の4%）と少ないが、この年齢になっても公的相談機関を利用しなければならない問題を抱えているということは、今後経済的、体力的にますます弱っていく将来に、大きな不安を残している。

・結婚当初より暴力的だった夫。このところ殴る、蹴る、髪を持って引きずり回すは当たり前。そんな夫から離れたいと思いながらも、一方では〝私が家を出てしまったら、夫は何も出来ない人だからかわいそう〟…でも、このままでは耐えられない

・45年前に結婚。結婚2年目から今日まで、他の女性と付き合っていたことを夫より知らされた。夫は家、土地を売って本人と別れたいと言いだした。

・50歳になる娘と2人暮らし。娘は2年前からノイローゼぎみで、働きにでていない。最近、本人に向かっても、攻撃的になることがある。先行きが不安。

・事業をしている夫が居て、それを手伝う娘婿が居て、家の中のことはお手伝いさんがしてくれる。皆が大事にしてくれる。でも何か、今の自分が何ともみじめで…毎日がボーと過ぎていく。役目がない。家のなかに居ると、心に何か膜が張るような気がして…。

全体からみられる問題点、特徴

◎来談者のうち精神疾患（うつ病・ヒステリー・境界例…etc）を伴い、現に何らかの治療を受けている人、あるいは治療は受けていないが、明らかに神経症的傾向のみられる人が全ケースの12%。

◎婦人相談所へ一時保護するケースが10件あったが、その内容は多様化してきている。

・夫の暴力　　・息子の暴力
・夫以外の人の子を妊娠、出産　アパートがみつかるまで行く所がない
・別れた夫が金をせびりに来ては暴力をふるう
・子供が居るとイライラして殴ってしまう。そんな自分が耐えられない
・テレクラを利用しては男達と泊まり歩く生活をしている

◎法律の狭間にある問題を抱えている人が多い

・娘は離婚後、子供を放たらかしたまま夕方～翌朝まで、男の所へ出て行ってしまう。本人は病身の夫の介護をしながら、本人達と別の所に住んでいる孫達の面倒をみているが、経済的にも体力的にも限界。孫達は施設へ行っても良いと言っているが、本人達にその手続きは出来ない。
・夫は一日ブラブラして、働きに出ず寝ている。息子は日夜逆転した生活で、風呂にも入らず、部屋の窓から小便をし、本人をどなりちらす。本人はそんな生活が嫌と言いながらも、朝早くから夜まで働いているが、収入は少なく生活の維持ができない。本人は軽い知的障害がある。生活保護申請してもらっても、夫は保護課の指示に全く従わず、保護は受けられない。子供の状況については、保健所に協力してもらい、様子をみてもらうも、それ以上は進まない。
・サラ金も含め、数百万の借金のある本人。破産宣告を受けると、同一世帯になっている娘の保証金（事故後の障害に対しておりてくる）も設定の基準に入れられてしまう。そうなると娘は、将来的に生活できないことになるので、破産宣告も受けれない。しかし、現在、手元には数千円しかなく、給与が入るまでの生活が出来ない。
・外国籍の本人は2年前に観光ビザで来日、日本人男性（既婚者）と知り合い、2ヶ月前に出産。しかし、その頃より男性の金まわりが悪くなっているのか、入院、出産費用、生活費も払わないまま足が遠のいてきている。本人産後の肥立ちが悪く、今、再度子供と共に入院している。

◎全ケースの20%は女性課だけでは対応しきれない問題を抱えており、関係課、あるいは他の機関との連携が必要

☆連携した課

・児童福祉課：保育園入所、母子寮入所、児童扶養手当
・保　護　課：生活保護申請
・障害福祉課：障害を持っている人への具体的な援助
・教育委員会：転校、編入手続き、就学援助
・住　宅　課：市住入居手続き
・希望の家：来談者の子供の入所

☆関連した機関

・婦人相談所
・家庭裁判所四日市支部
・県女性センター法律相談
・北勢児相
・パートバンク
・ハローワーク
・母子寮(四日市市、伊勢)
・和歌山市役所－福祉事務所
・鈴鹿厚生病院
・四日市保健所
・フェミニストカウンセリング名古屋
・心の健康センター

◎来談者たちにみられる一般的傾向

・性的役割分担意識が根強い
・精神的未成熟
・人間関係が貧弱
・経済的に自立していない
・社会情報、知識に乏しい

●来談者から出てきた現実的な問題 ——→自立への支援を考えるために

●経済的なこと……家をとび出した女性にすぐ生活保護を適用することはむずかしい。母子世帯の生活は苦しい。母子世帯の母親が病気になった時の援助がない。

●住居の確保……単身者用市営住宅が少ない。
離婚が成立していない女性、また離婚後も元夫のもとに同居している女性は、市営住宅への入居ができない。高齢単身女性が入れるアパートが少ない。母子寮入所措置に関して、児童福祉法23条の解釈の仕方が、県福祉事務所・市福祉事務所・母子寮によって違う場合がある。（たとえば暴力的な夫が居る場合など、離婚をきちんと成立させていないと入所手続がとれないなど……）また、学齢期にある子供が２人以上の場合は、生活空間として狭い。

●子どもの施設……離婚したいが、子どもを預ける所がない。（保育園の途中入園、０歳児保育、病児保育、延長保育、学童保育など）

●就　　職……働き口がない、相談するところがない、情報がない。子供を抱え再出発しようとする女性が、就職に必要な技術を身につける場が少ない。

●かけ込み寺……子供連れで津まで行くのは大変。
（一時保護施設）

●婦人保護施設……未婚の女性たちが安心して出産できる場所がない。

●健康のこと……特に更年期障害について相談に乗ってくれる医者がいない。

●相談の窓口……相談内容が複雑なので、たらいまわしになる危険性がある。

何よりも求められる精神的支援…市役所窓口でのあたたかい応待／相談員のカウンセリングの心

出された課題

● ３つの方策

1 相談員の資質向上と庁内各種相談員の連携

・連絡調整会議
・研修会の開催（フェミニストセラピーの研修）
・女性課相談員のカウンセリング研修

2 女性弁護士による、女性のための法律相談の開始

3 21世紀にむけての女性施策プランづくりとその推進

〈課　題〉
①仕事と育児を支える条件整備
②男女平等教育のすすめ
③審議会等への女性の登用
④女性のための施設の整備
⑤相談体制づくり
⑥更年期女性への配慮
⑦単身女性等への不利益の除去

2 庁内相談員の研修

●女性問題と関係の深い市役所内各種相談員

相談員	人数	担当課
生活保護面接相談員	1人	保護課
老人福祉相談員	1人	老人福祉課
福祉住宅相談員	1人	渉外福祉課
家庭児童相談員	2人	児童福祉課
母子相談員	1人	児童福祉課
市民相談員	2人	地域振興課
婦人相談員	1人	女性課

〝相談業務に携わる皆さんへ〟

1993

・7月7日(水)2:30～4:00
・市役所6F会議室

テーマ
〝相談活動の実際〟

講師
三重県こころの健康センター
臨床心理士
久保早百合さん

1994

・8月31日(木)1:30～3:30
・総合会館3F
社会適応訓練室

テーマ
〝相談を受けるということ〟
―― 名古屋市女性会館での
相談業務をとおして

講師
愛知淑徳大学教授
冨安　玲子さん

1995

1	11/16(木) フェミニストカウンセリングとは 「女らしさ」について
2	12/7(木) ケースをとおして学ぶ 「母と娘」
3	'95 1/16(火) ケースをとおして学ぶ 「女性と自立」
4	2/7(水) ケースをとおして学ぶ 「夫と妻」
5	2/21(水) ロールプレー「聴くこと」 「共感する」を体験的に学ぶ

講師
フェミニストカウンセリング名古屋
カウンセラー

隠岐　美智子
石田　ユミ
梅村　政子
川澄　康子
佐竹　一予　　さんが交替で担当

会場　総合会館3F

●相談業務に携わる皆さんへ ―――――――― 講座●

[redacted]

“相談を受けるとは”

① 6月21日（金）
13:30～15:30
<福祉事務所の現場から>
名古屋市役所職員
市川　孝夫

② 7月19日（金）
13:30～15:30
<事例をとおして>
市川　孝夫

③ 9月27日（金）
13:30～15:30
<カウンセリング とは>
カウンセリングを学ぶ仲間
森野　弘子
高見　たつ子

④ 10月25日（金）
13:30～15:30
<聴くということ>
カウンセリングを学ぶ仲間
森野　弘子
高見　たつ子

[redacted]

実践家とともに　もう一度“相談を受けるということ”を学びます

[redacted]

●会場
6月・7月は総合会館3階会議室　●9月・10月は四日市市女性センター

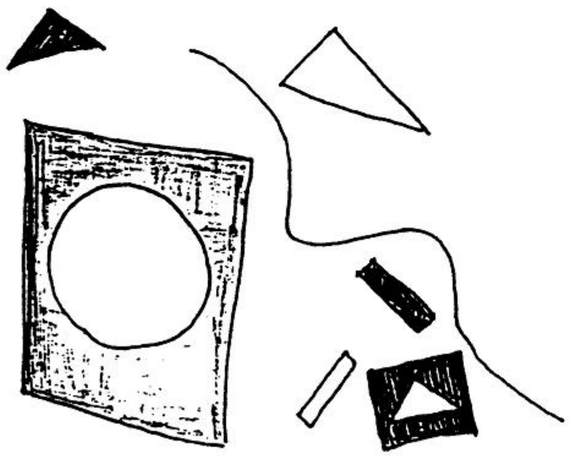
●お問い合わせ・お申込み
四日市市市役所市民部女性課　☎0593（54）8202（直通）

3 フェミニストカウンセリング講座

1996

今回のテーマ「わたしと家族」 ―――― 自分の感じたことを話し、相手の話しに耳を傾け、わたしが私であることの大切さやむずかしさを体験します。

CR（意識覚醒）グループ活動と言って、女性の立場に立ったカウンセリングの技法のひとつです



●日　　時－1996. 2. 6(火) 2. 13(水) 2. 27(水)
3. 5(水) 3. 19(水) の全5回 ・・・・ 後1:30~3:00

●場　　所－四日市市総合会館（市役所西隣）
●対　　象－２０才以上の女性
●定　　員－１５人
●講　　師－フェミニストカウンセリング 名古屋のカウンセラー
●資　料　代　５００円いただきます

お申込み　ハガキに住所・氏名・年齢・家族構成をご記入の上 1月30日までに
〒510 四日市市諏訪町1-5/四日市市役所女性課☎0593(54)8202

参加15人

“自分らしさ”に出会いたい……

女性のためのカウンセリング講座

定員25名

No.	日　程	講　座　テ　ー　マ
1	10/23(水)	開講式 お互いに知り合う
2	30(水)	カウンセリング(1)
3	11/6 (水)	カウンセリング(2)
4	13(水)	カウンセリングとフェミニズム 女性の心理(1)　「女らしさ」
5	20(水)	女性の心理(2)　「母と娘の関係」
6	27(水)	女性の心理(3)　「パートナー との関係」
7	12/4 (水)	女性の心理(4)　「女性の自立」
8	11(水)	ライフサイクルとからだ
9	18(水)	自分自身を知る(1)
10	1/22(水)	自分自身を知る(2)
11	29(水)	アサーティブネストレーニング(1)
12	2/5 (水)	アサーティブネストレーニング(2)
13	12(水)	事例から学ぶ(1)
14	19(水)	事例から学ぶ(2)
15	26(水)	実習(1)　「聴く」ということ
16	3/5 (水)	実習(2)　ロールプレイ
17	12(水)	講座での体験を語る まとめ

・時間は毎回１：３０～３：３０

●会場はオープンした四日市市女性センター

●講師はフェミニストカウンセリング　“なごや”
カウンセラー
石田ユミ／梅村政子 が担当します

●20歳以上の女性を対象とします

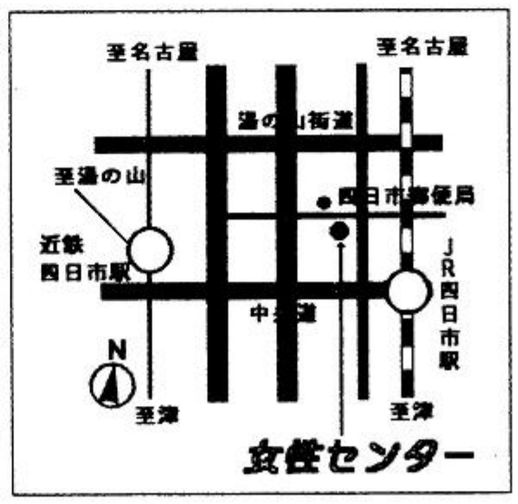
●参加費は全講座で６０００円
（講座がはじまってからの返却はできません）

●お申込みは　お電話でどうぞ！！
☎０５９３（５４）８３３１

※９月１７日より受け付け開始

――――四日市女性センター――――

四日市市本町８－９　本町プラザ３Ｆ
TEL　0593(54)8331
FAX　0593(54)8339



参加28人

●映画とおはなし

ルッキング・フォー・フミコ：女たちの自分探し

●サンフランシスコ国際映画祭(米国)サーティフィケート・オブ・メリット受賞
●全米教育映画ビデオ祭(米国)多文化主義部門ゴールド・アップル賞受賞

札幌・東京・横浜・名古屋
大阪・福岡
沖縄　につぐ
上映！！

11月24日（木）
6:30～8:30P.M
市総合会館8階視聴覚室
……市役所西
整理券　300円

監督
栗原奈名子を
囲んでトーク。

解説

ひとりの日本女性との出会いからニューヨークに住む監督が日本のウーマン・リブ運動を探す旅に出る。70年代当時マスコミから否定的に扱われ、わずか5年で社会の表面から消えていったリブ運動、その本当の姿は未だよく知られていない。いったい何を求める運動だったのか。日本社会はどのような影響を受けたのか。関わった女たちは今どんなふうに生きているのか。カメラは当時のリブ参加者5人を追って日本へ。様々な人生を生きてきた彼女たちの暮らしぶりとその言葉から、四半世紀の女性史が垣間見える。ふんだんな資料映像が当時の熱気を伝え、単刀直入なインタビューがリブ運動の感性と思想を明らかにする。「女として私はどう生きたいのか」を追求し続けた女たちの姿をみずみずしく描いたパーソナルなドキュメンタリー。

監督メッセージ

大和史子さんがカビー・ホール（小熊の穴）と呼ばれるニューヨークの私の極小アパートに現われたその瞬間から私の人生は突如スイングしだしたのでした。仕事もしたいし、ラブ・ライフも充実させたい、おいしいものも食べたいし、おしゃれだってしたい。とにかく自分の人生を生きたい。そんな私達は、日本に飽きたらず、各自ニューヨークにやってきて出会ったのです。下ネタから政治経済までどしどし本音で話すけれど、距離もわきまえた史子さんは、私の人生最大のソウル・シスターとなりました。日本人離れしたオープンさも、彼女が昔ウーマン・リブ運動に関わっていたと聞いて、よく知らないまま納得していました。だから、突然彼女がいなくなった時に私に唯一できたのは、いったい彼女がどこからやってきたのかをたどることでした。それがこのドキュメンタリーです。太平洋を渡った日本のウーマン・リブ・スピリットをニューヨーク経由で皆さんにお届けします。

監督プロフィール／栗原奈名子
早稲田大学政経学部卒業後、雑誌編集者として活躍。1984年、ニューヨークに移り住み、現在に至る。本作で撮影・共同編集を担当したつれあいのスコット・シンクラーと二匹の猫、アトムと暖とともにマンハッタンで暮らす。

すいせんのことば

「もし日本にリブがあったことを知っていたら、わたしは日本を去らずにすんだかもしれないのに……」ナナコのつぶやきは、わたしの胸にささる。ナナコの思いはこのニホンを息苦しく感じる多くの女たちと共通の思いだ。そしてリブがこの国にたしかにあったことを、そしてそれがいまもしっかり根づいていることを、伝えられないわたしたち年長の女たちの非力の証だ。「あとから来た世代」のナナコは、リブのドキュメントを映像で表現するという、わたしたちの世代が思いつかなかった手法をとった。"Is there such a thing as feminism in Japan?"……と問いかけるすべてのニホンジンおよび非ニホンジンに見てもらいたい。

上野千鶴子（東京大学助教授・女性学研究者）

主催／ルッキング・フォー・フミコ を上映する会

お問い合わせ
整理券申込み
● 四日市市諏訪町1の5
四日市市役所　女性課
0593(54)8202

参加180人

厚生省・横浜市・全国社会福祉協議会・社団法人日本てんかん協会・日本障害者芸術文化協会・共同作業所全国連絡会・日本映画ペンクラブ推薦／文部省選定
1995年 カラー 16mm 98分

奈緒ちゃん

- 毎日映画コンクール受賞
- 山路ふみ子福祉賞受賞
- JSC特別賞受賞
- キネマ旬報ベスト10 第2位
- 日本映画ペンクラブベスト5 第2位
- ボレボレアカデミー作品賞受賞

育み、育まれる家族のしあわせ。

重度のてんかんと知的障害をもつ少女"奈緒ちゃん"。
この映画は、彼女が家族に育まれ、家族が彼女に育まれた 少女時代12年間を記録したヒューマン・ドキュメンタリーです。

まるで自分の親戚の家の出来事を見聞きするような、親身な気持で見ることのできる映画でした。とても良かったです。**佐藤忠男**[映画評論家]

平凡な家庭のなかで、障害と立ち向かう。西村家の ノーマライゼーション の実践といえよう。**松友了**[国際てんかん協会・副会長]

知的障害者と呼ばれる人たちが、われわれの住む社会にとっていかに平和的でかけがえのない友人であったのかということが、この映画を観るとよくわかる。**小室等**[シンガー]

奈緒ちゃんのイノセントさとユーモアがまわりを勇気づけてくれる。励ましてくれる。奈緒ちゃんはしっかりと生きている、と思った。**熊埜御堂朋子**[NHK・ディレクター]

奈緒ちゃんがうらやましい！お父さん、お母さん、地域の人々！みんなあったかくて素敵！涙がとまりませんでした。**石川牧子**[日本テレビ・アナウンサー]

子育てに必死だった時には大きかった公園が、ある日とってもちっぽけに見える。十二年ひとつの家族を見続けたことで、そんなふうに家族の風景が時代と共に見事にあぶり出しにされている。**佐藤真**[映画監督]

[製作]大城房子 [演出]伊勢眞一 [撮影]瀬川陽一 [音楽構成]木村勝美 [音楽]木村勝美・伊福部敬 [編集]鈴浦眞一 [語り]伊福部一 [製作]奈緒ちゃん製作委員会・デコ企画 [配給]奈緒ちゃん上映委員会

女性センターオープンにむけて

建設中の本町プラザの３Ｆスペースに女性センターをオープンさせることが決まる―――1995年12月

〈本町プラザに女性センターが入れば……プラン〉を作成（１月）

――1995年３月策定した「四日市市女性施策プラン」
のなかの〝こんな女性センターがほしい〟の実現化――

1コンセプト

男女共生社会づくりの発信地そしてそのための市民活動ネットワークの拠点

2重点スペース ―― 交流スペースに重点

――個人でもグループでもくつろげる
サロン的スペースといっぱいの情報とティー

3四日市らしさの追求（女性センターとして、四日市市として）－若い女性が来れるところに

(a) 幼い子どもたちに文化を、お母さんに安心と解放感を－託児室を子ども小劇場として利用できるように

(b) 元気な初老のおばあさんたちのための出番づくり－調理室を授産所として、何日か利用する（プラン参照）
託児室のおやつをつくる／曜日を決めたお惣菜づくり

4内装にあたって

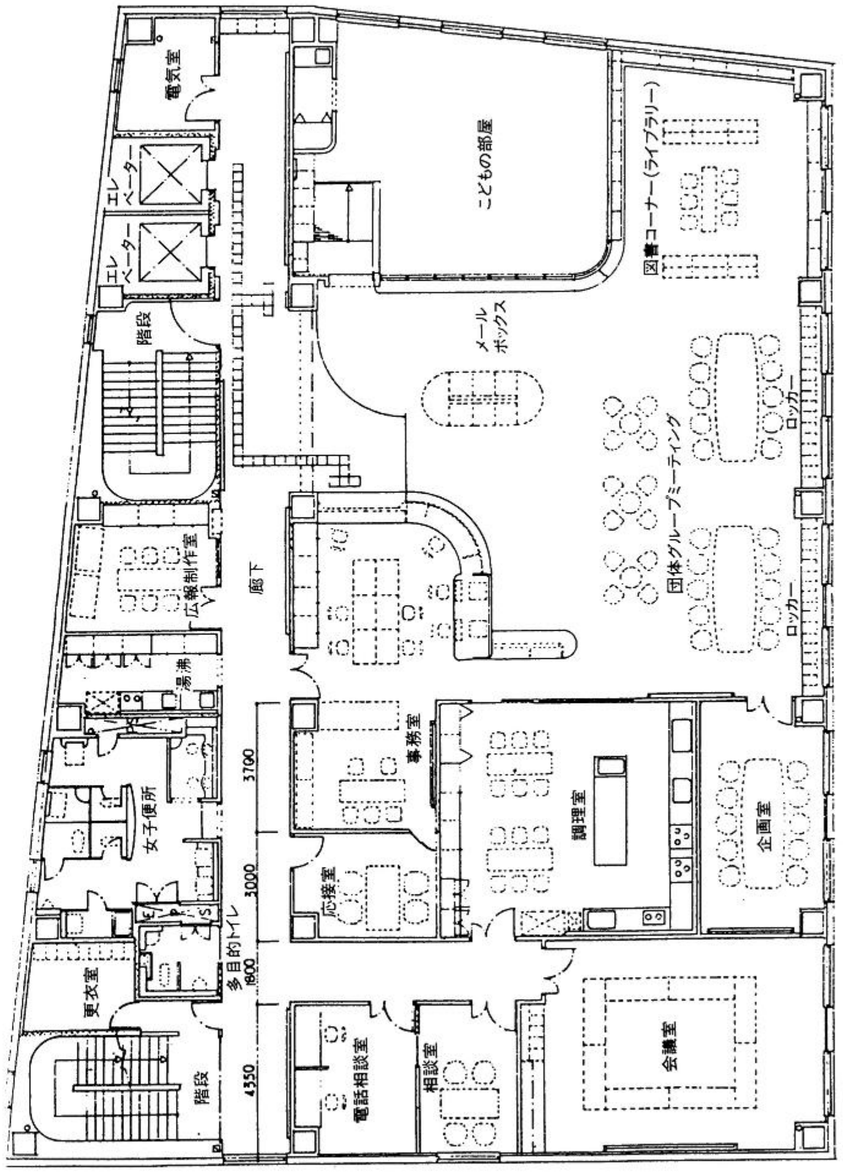
弱者の視点――段差なし、階段のてすり、ローカウンター、高さが調節できる調理台、入口は広く、引き戸、点字ブロック、点字案内、公衆ファックス

男女平等の視点――おむつ交換の場所、女性トイレの数多く、表示を女性は赤、男性は黒っぽい色にしない

情報いっぱい――天井までの書架、いたるところに情報ボード

広く／明るく ／あったかく／楽しく／シンプルに、など…
（ガラスの利用）（木の使用）（机と椅子の形・色）

見取図



●オープニング事業（平成８年８月１日オープン）

女性センター　オープニング催しのいろいろ ―――――― “集まる”そして“笑い合う”

	A　メイン行事	B作って食べておしゃべり	C 子どもたちへのプレゼント	D 私たちが企画したオープニング記念イベント
8月 ／10日 （土） 13:30 ～ 16:30	(1) 《世界女性会議から一年》 － 四日市に住む私と世界女性会議 － 講師／市川房枝記念会常務理事 山口　みつ子 ［ワークショップ］ ①「夫からの暴力に悩む女性が増えている」 助言者　フェミニストカウンセリング“なごや” 柴村　政子 ②「大事なことを決めるところに女性がいない」 助言者　山口　みつ子 ③「身近にある“女性の貧困化”」 助言者　女性問題研究家 高橋　ますみ 託児あります　［本町プラザ　1Fホール］	8/1 ハーブティ&クッキー （木）　ぜんざい 8/10（土） 男性グループ 「おんどり会」のメンバーが“カレーライス”を作ってくれます		8/7（水）~9（金） 10:00～16:00 「リフォーム手芸作品展」 ―― 市 消費者協会 ［2F 会議室］ 8/10（土） 10:00～16:00 「女性の起業 農村女性からのメッセージ」 •安全な農産物をつくる •水環境を守る •家族ルールづくり
8月 ／20日 （火） 13:30 ～ 16:00	(2) 《公開　東海５都市女性行政担当課長会議》 “これからの女性行政と女性センター” 助言者 弁護士　北村明美 足立区女性センター　高井正 （5都市…岐阜市、豊橋市、名古屋市、浜松市 四日市市） ［1F ホール］	8/20（火） 女性グループ 「パンプキンの会」がお弁当とお菓子を作ってくれます	8/17<宮崎駿ビデオA> （土）「風の谷のナウシカ」 10:00～ 14:00～ 8/17（土） 10:00～15:00 「紙芝居のおじさんがくるよ」 ［3F こどものへや］ おじさん　北村好子行	生活改善グループによる農産加工品の展示と即売 3F 女性センター
8月 ／23日 （金） 10:00 ～ 15:00	(3) 《女性のための就職相談会》 －ミニ職業安定所－ ハローワーク、バートバンク ［3F 会議室］		8/27<宮崎駿ビデオB> （火）「となりのトトロ」 10:00～ 14:00～	9/14（土） 10:00~16:00 「私たちが工夫した介護用品たち」 ウィミンよっかいち 3F 女性センター
9月 ／7日 （土） 13:30 ～ 16:00	(4) 《自分で治す冷え症》 からだのおはなしと相談 講師／鍼灸士　田中美津 健康相談　市保健センター保健婦 質問は事前にはがきで女性課へ。 質問コーナーで紹介します。 ［1F ホール］ 託児あります	9/7（土） 料理講師 後藤久美子先生 と若者グループが薬膳料理を作ってくれます	9/14<宮崎駿ビデオC> （土）「天空の城ラピュタ」 10:00～ 14:00～	9/14（土） 「ヨガ体験をする時間」 指導/大久保有祐 午前・午後1回づつ 3F 女性センター

入場無料
託児・手話の必要な方はお手数おかけしますがお申込みください

☆ お申込み・お問い合わせ
四日市市女性センター
（女性課）
TEL 0593(54)8331
FAX 0593(54)8339

●女性施策に関する議会質問一覧

年　月	議　員	質　問　内　容
平成 3．9月	女　性	○女性施策担当課の設置について ○女性関係行革推進連絡会議の設置について ○行動計画策定について ○女性センターの建設について ○婦人問題研究会の充実強化について
4．9月	女　性	○女性情報コーナーの設置について ○女性センター建設（D地区）について ○女性の登用について
	男　性	○婦人問題担当部署の整備について
5．9月	女　性	○女性施策の総合的推進システム、役割分担について
6．3月	男　性	○女性センター建設について ○ファミリー・サポート・センターについて
6．6月	女　性	○女性課設置の目的について ○世界女性会議について
6．12月	女　性	○女性センター建設について
	男　性	○高齢対策と女性の人権について
	男　性	○女性の地位向上対策について（特に農村女性）
7．3月	女　性	○女性施策の充実のために
7．6月	女　性	①市役所内外との連携の強化、相談員のさらなる資質向上について ②更年期女性への配慮について

年　月	議　員	質　問　内　容
平成 7．9月	女　性	①女性施策プランの推進について ②女性センターの設置について
7．12月	男　性	○働く女性の支援策としてファミリー・サポート・センターの平成9年度設立について
8．3月	男　性	①第7次基本計画に女性施策プランの具体的施策を位置づけ全庁的な取り組みについて ②JR四日市駅周辺の再開発計画の中でより拡充した女性センターの設置について ③全庁的な女性行政を推進するため、市長公室内に担当部門の設置について ④ファミリー・サポート・センターと女性課、女性センターの関係について
	女　性	○男女共同参画都市宣言について
8．6月	女　性	○女性課は今、女性問題をどうとらえ、それに対処するため、どのように取り組もうとしているかについて。
8．9月	男　性	①女性の起業化への支援について ②単身女性の自立への対策について ③女性の活動を支援する基金の創設について
	女　性	①全庁的な女性施策の推進計画について ②庁内の男女平等意識の啓発について
9．1月	男　性	○男女共同参画型社会の実現についての市長の基本的な考え方

●四日市市の審議会等への女性の登用状況

平成９年３月現在

区　　分	委員数	女性の委員数	女性委員の比率
地方自治法第180条の５に規定される行政委員会	人	人	%
教育委員会	5	1	20.0
選挙管理委員会	8	3	37.5
公平委員会	3	0	0
監査委員会	2	0	0
農業委員会	37	1	2.7
固定資産評価審査委員会	3	0	0
その他の法令、条例等に基づく審議会等	1,641	261	15.9
合　　計	1,699	266	15.7

審議会等委員への女性の参画の拡大については、日本の「男女共同参画2000年プラン」（男女共同参画社会の形成の促進に関する平成12年度までの国内行動計画）では、「平成12年（西暦2000年）度末までのできるだけ早い時期に20％を達成するよう努める」としている。

世界的には、ナイロビ将来戦略勧告で、意思決定レベルの地位における女性比率を1995年までに30％にするという国際的目標が提示されている。

＜女性課事業予算の推移＞

（単位：千円）

	平成５年度	平成６年度	平成７年度	平成８年度	平成９年度
Ⅰ.女性施策に関する行動計画の実現に向けての事業	(女性施策プラン策定準備事業) 2,632	(女性施策プラン策定準備事業) 2,924	1,770	2,174	6,770
Ⅱ.人材養成と発掘に関する事業	2,548	3,368	(世界女性会議派遣事業) 7,995	3,471	2,946
Ⅲ.女のネットワーキング事業	1,100	1,382	1,639	1,700	1,800
Ⅳ.一般相談関係事業	0	0	0	0	935
Ⅴ.その他一般経費	925	570	516	479	1,785
Ⅵ.婦人相談事業	50	498	709	669	516
Ⅶ.女性センター設置事業	0	0	0	17,000	0
合　　計	7,255	8,742	12,629	25,493	14,752

●職 員 一 覧

＜平成５年度＞

課長	坂倉加代子
主幹	伊藤有一
主事	滝上清美
相談員	鈴木文子

＜平成６年度＞

課長	坂倉加代子
主幹	伊藤有一
主事	滝上清美
相談員	鈴木文子
臨時職員	井口貴美子

＜平成７年度＞

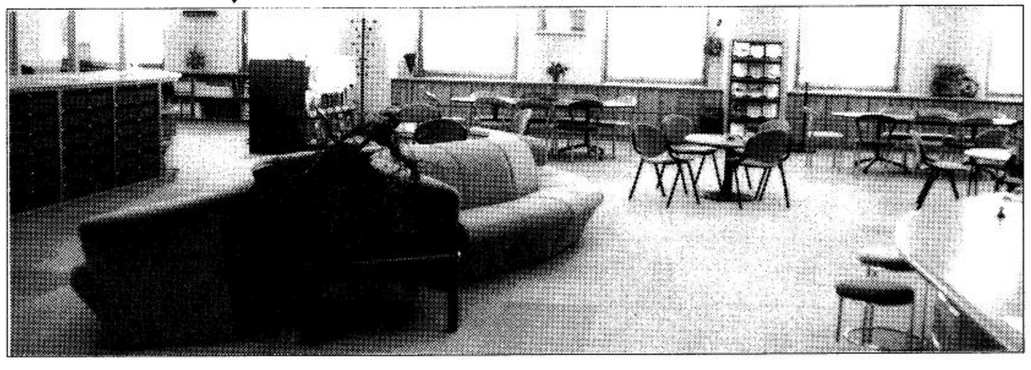
課長	坂倉加代子
主幹	新谷裕俊
主事	滝上清美
相談員	鈴木文子
臨時職員	井口貴美子

＜平成８年度＞

課長	坂倉加代子
主幹	新谷裕俊
主幹	栗田さち子
相談員	鈴木文子
嘱託職員	中川米子
臨時職員	井口貴美子
〃	木村伸子
〃	東　美鳥
〃	堀木裕子

●平成６年度より市役所一階ロビーに作った
「女性課」の専門ルームへ

●平成８年８月１日に女性センターオープン
女性課は女性センターへ移り、職員全員、女性課、女性センター兼務となる



●あとがき

ゼロからの出発の３年間。無我夢中ながら楽しく仕事を重ねてきました。前例がない上に、まだまだ女性に対する偏見の多い男社会の中での女性課づくりにはエネルギーがいりましたが、それ以上に創る喜びを味わうことができました。この「３年間の記録」は何十人、何百人という四日市に暮らす女性たちと課題を共有し、共に汗や涙を流したり、笑い合った〝わたしたち〟の足跡です。